

市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借

図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺
A-001	図面リスト	N.S.	M-001	換気設備平面図	(A1)1/100・(A3)1/200
A-002	建築工事特記仕様書	N.S.	M-002	衛生設備平面図	(A1)1/100・(A3)1/200
A-003	案内図・全体配置図	(A1)1/700・(A3)1/1400			
A-004	配置図	(A1)1/100・(A3)1/200	E-001	電灯設備平面図	(A1)1/100・(A3)1/200
A-005	外部・内部仕上表・平面図・建具表	(A1)1/50・(A3)1/100			
A-006	立面図	(A1)1/50・(A3)1/100	K-001	仮設計画図(参考)	(A1)1/100・(A3)1/200
A-007	断面図	(A1)1/50・(A3)1/100			
A-008	矩計図	(A1)1/15・(A3)1/30			
A-009	既存配置図	(A1)1/100・(A3)1/200			
A-010	外構詳細図	(A1)1/10・(A3)1/20			
S-001	構造設計標準仕様	N.S.			
S-002	鉄骨構造標準図(1)	N.S.			
S-003	鉄骨構造標準図(2)	N.S.			
S-004	基礎伏図・1階床伏図・部材リスト図	(A1)1/30・1/100・(A3)1/60・1/200			
S-005	軸力図・梁伏図	(A1)1/50・(A3)1/100			
S-006	軸組図(1)	(A1)1/50・(A3)1/100			
S-007	軸組図(2)	(A1)1/50・(A3)1/100			
S-008	鉄骨部材リスト図	(A1)1/10・(A3)1/20			
S-009	鉄骨架構詳細図	(A1)1/15・(A3)1/30			

市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課 市川市田尻1003番地	部長	次長	課長	主幹	担当	担当	特記事項	設計事務所名 : 出堀建築設計室 登録番号 : 千葉県知事登録 第1-1605-5512号 設計者名 : 出堀 義夫 建築士番号 : 一級建築士 第113243号	検図	設計	製図	設計年月日	工事名称 市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借	工事場所 市川市田尻1003番地	図面名称 タイトル・図面リスト	縮 尺 N.S.	図面番号 A-001
									出堀	酒井	酒井						

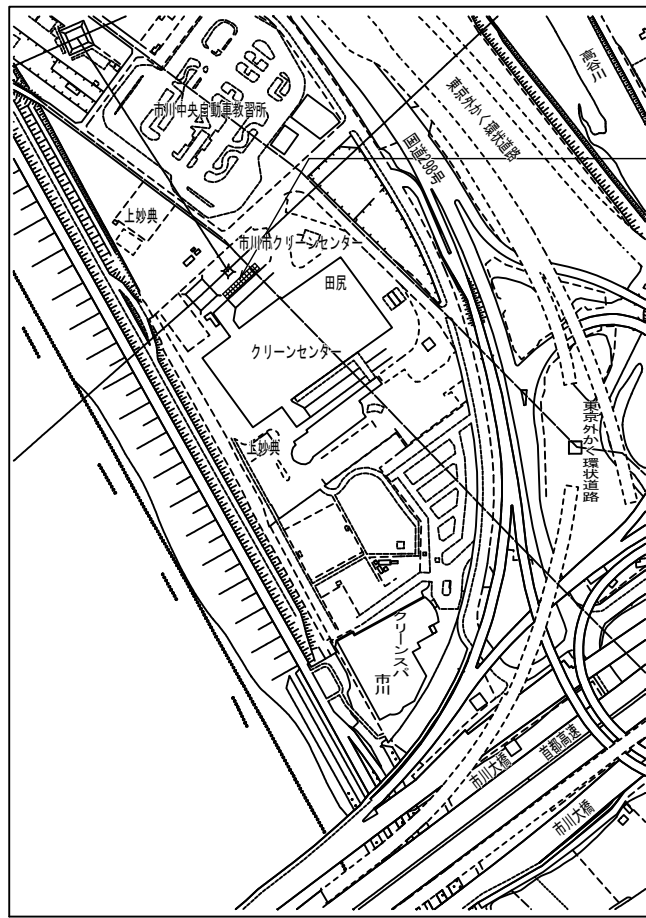
建築工事特記仕様書
1 適用範囲
2 標準仕様書
3 項目及び特記事項の適用
4 設計図書等の優先順位
5 経費に対する協議等
6 設計変更
7 軽微な変更
8 実施工業表
9 施工図等
10 建築材料
11 材料試験
12 化学物質を発生する建築材料等
13 化学物質の濃度測定
14 施工の立会い及び検査
15 工事記録
16 工事管理
17 施工管理
18 官公署その他への届出手続き
19 工事報告書
20 工事写真
21 竣工写真
22 妥当性の確認

2 仮設工事
3 土留め工事
4 地盤工事
5 鉄筋工事
6 コンクリート工事
7 鉄骨工事
8 ALCパネル
9 サリリング
10 防水工事
11 陶磁器質タイル
12 壁タイル張り工法
13 陶磁器質タイル型枠先付け工法
14 伸縮調整地
15 接着力試験

12 木材
13 屋根及びびとしい工事
14 金属
15 左官工事
16 建築用具工事
17 カテナンテール
18 塗装工事
19 内装工事
20 舗装工事
21 排水工事
22 植栽工事

1 防火材料
2 漆地ごしらえ
3 錆止め塗料
4 防災材料
5 カパゲリ
6 畳敷き
7 カパゲリ
8 階段滑止め
9 トイレブース
10 ブラインド
11 点検口
12 その他
13 舗装
14 舗装
15 舗装
16 舗装
17 舗装
18 舗装
19 舗装
20 舗装
21 舗装
22 舗装

市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課
部長 次長 課長 主幹 担当 担当
特記事項
設計事務所名: 出組建築設計室
登録番号: 千葉県知事登録 第1-1605-5512号
設計者名: 出組 義夫
建築士番号: 一級建築士 第113243号
校図 設計 製図 設計年月日
工事名称: 市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借
工事場所: 市川市田尻1003番地
図面名称: 建築工事特記仕様書
縮尺: N.S.
図面番号: A-002



案内図 non scale

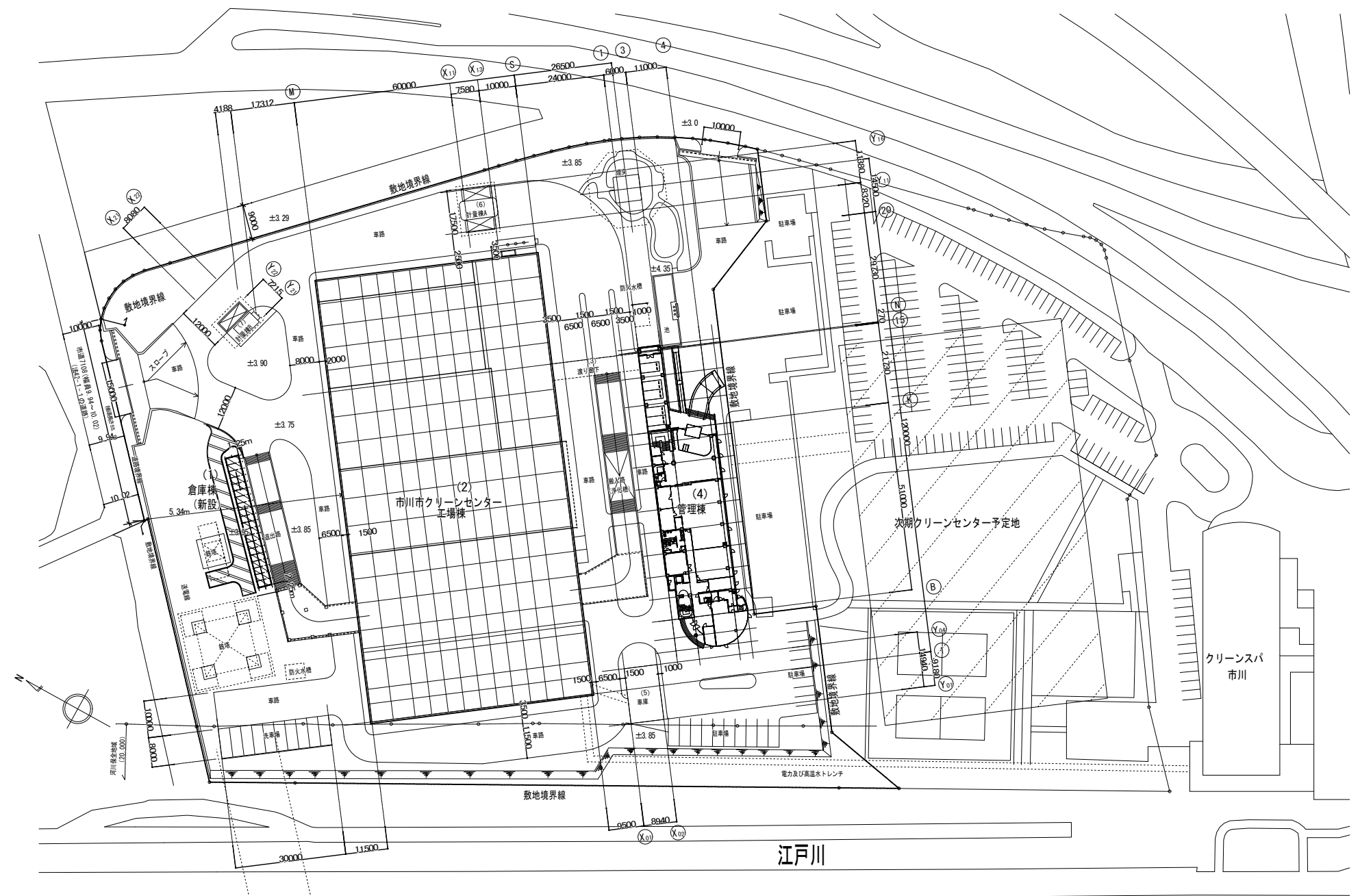
工事場所：市川市田尻1003番地

既存建物の概要（全体）

建築概要（既存）	
施設名称	市川市クリーンセンター
施設場所	市川市田尻1003番地
主要用途	ごみ処理施設
工事種別	既存
敷地面積	27,000m ²
用途地域	指定なし
防火地域	指定なし

建物の概要

(1)	倉庫
建築面積	132.57m ²
延床面積	132.57m ²
主体構造	鉄骨造
階数	1階建
高さ	最高高3.626m 軒高 3.376m
基礎	布基礎
屋根	カラーガルバリウム鋼板t=0.6横葺き
外壁	カラー鉄板t=0.35(サンドイッチパネル t=41)
出入口・窓	アルミサッシ



全体配置図 S=1:700 (倉庫・設計GL=TP+3.95)

市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課
市川市田尻1003番地

部長	次長	課長	主幹	担当	担当

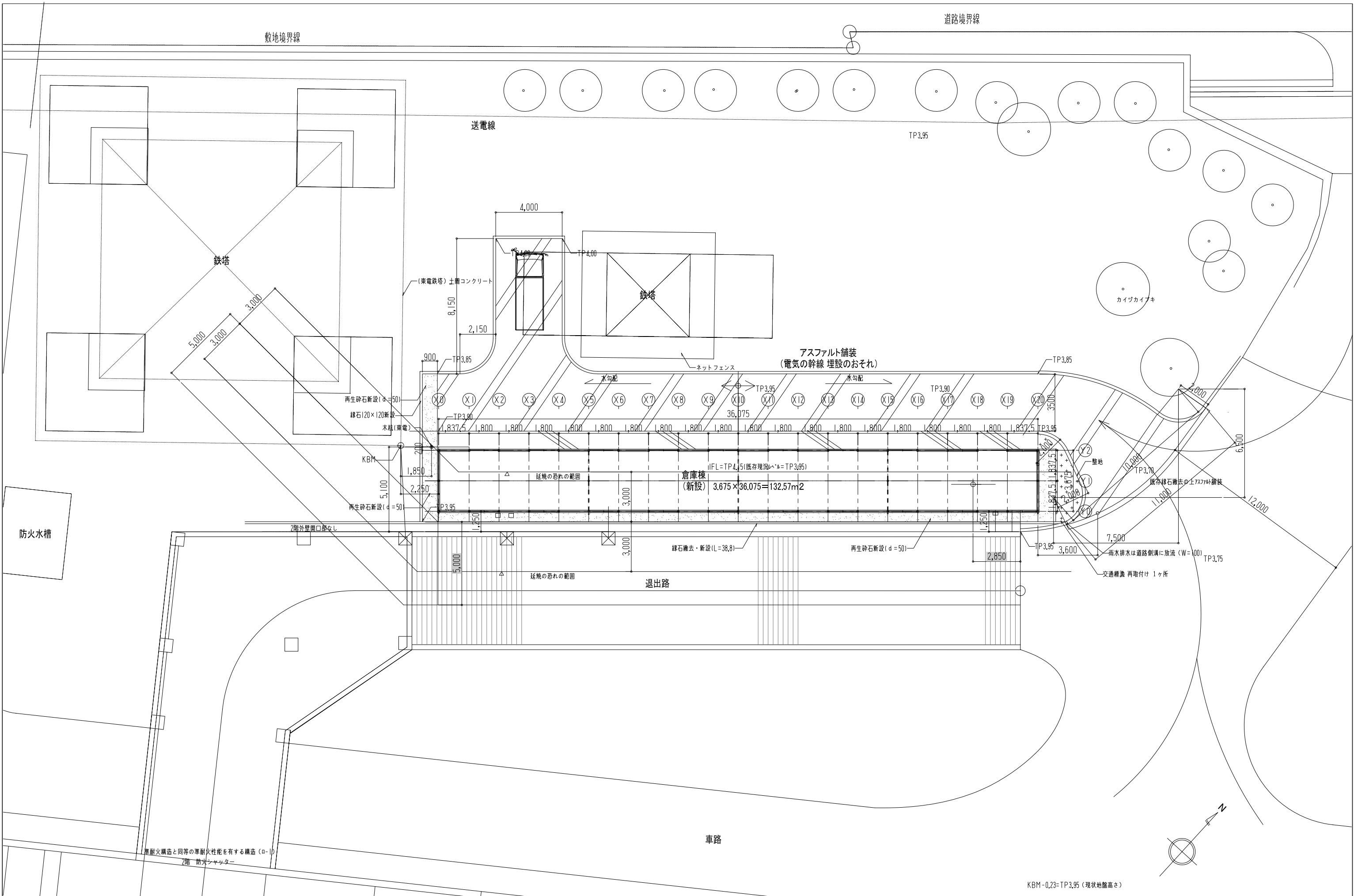
特記事項

設計事務所名： 出堀建築設計室
登録番号： 千葉県知事登録 第1-1605-5512号
設計者名： 出堀 義夫
建築士番号： 一級建築士 第113243号

校閲	設計	製図	設計年月日
出堀	酒井	酒井	

工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借
工事場所	市川市田尻1003番地

図面名称	縮尺	図面番号
案内図・全体配置図	(A1) 1/700 (A3) 1/1400	A-003



市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課
市川市田尻1003番地

部長	次長	課長	主幹	担当	担当

特記事項

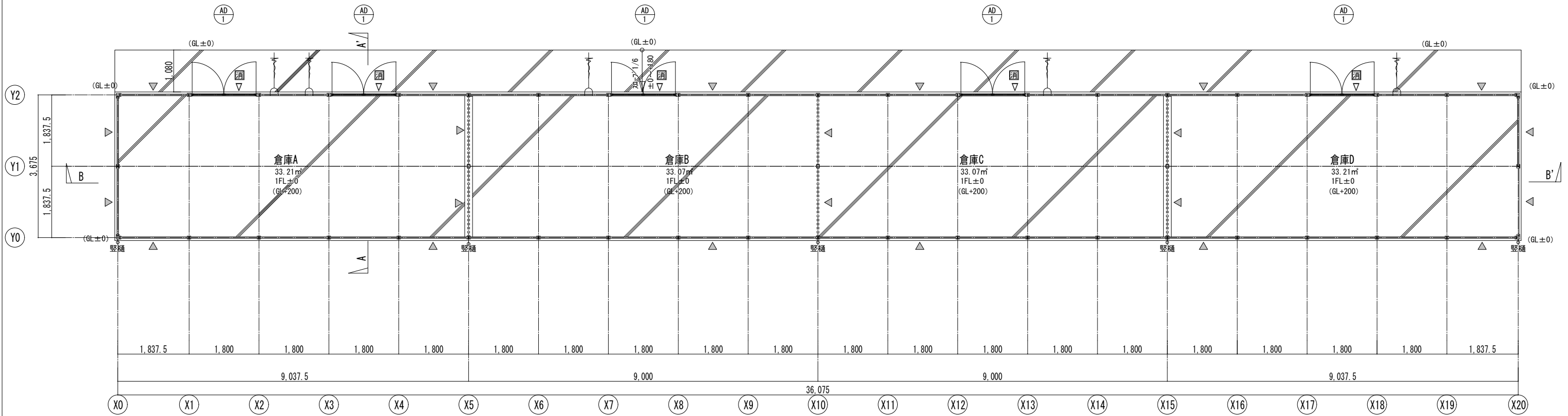
設計事務所名 : 出堀建築設計室
登録番号 : 千葉県知事登録 第1-1605-5512号
設計者名 : 出堀 義夫
建築士番号 : 一級建築士 第113243号

練図 設計 製図 設計年月日
出堀 酒井 酒井

工事名称 : 市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借
工事場所 : 市川市田尻1003番地

図面名称 : 配置図
縮尺 : (A1)1/100 (A3)1/200
図面番号 : A-004

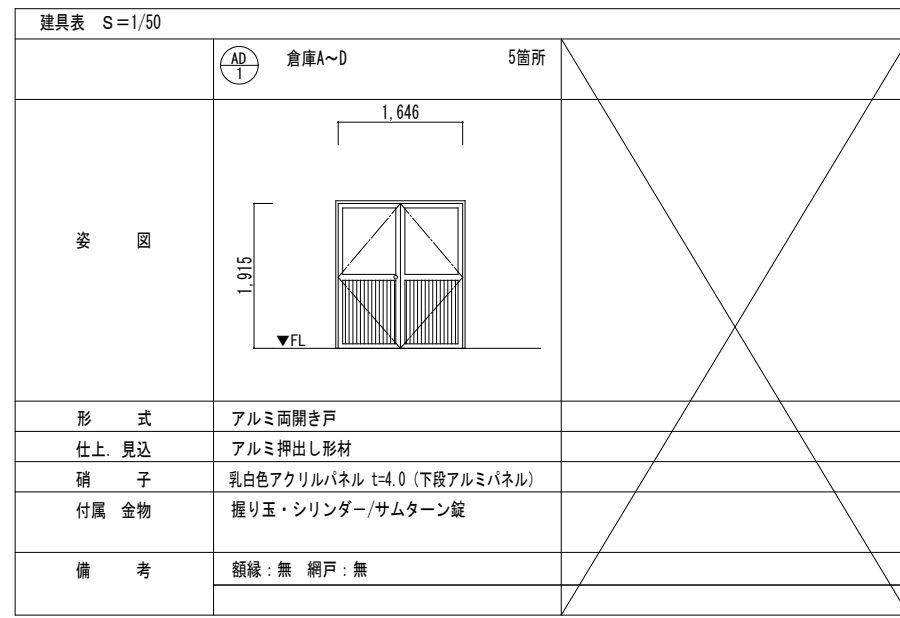
KBM-0.23=TP3.95 (現状地盤高さ)



平面図 S=1/50

外部仕上表	
項目	仕様・材料
本体屋根	カラーガルバリウム鋼板製 断熱二重折板屋根 ハゼ式 t=0.6 H=90 裏打材 ポリエチレンフォーム t=4貼 三方板金包み：カラーガルバリウム鋼板t=0.5
庇	
軒天井	屋根裏表し (本体屋根・庇共)
破風	無し (本体屋根・庇共)
外壁	カラー鉄板t=0.35 (サンドイッチパネルt=41 H=500)
開口部	窓 アルミサッシ (建具表による)
	出入口 アルミサッシ (建具表による)
樋	軒樋 硬質塩ビ 既製品前高130
	壁樋 硬質塩ビ VU 本体75φ
外部巾木	コンクリート打放し補修
断熱材	屋根：グラスウール10K t=100 (二重折板内)
	外壁：硬質ウレタンフォーム (サンドイッチパネル内) 天井：無し
外構	スロープ：土間コンクリートt=120 刷毛引仕上
備考	外部側ブレース仕様
	鉄部塗装：アイボリー焼付塗装 中量ラック (ノンボルトタイプ) 300kg/段

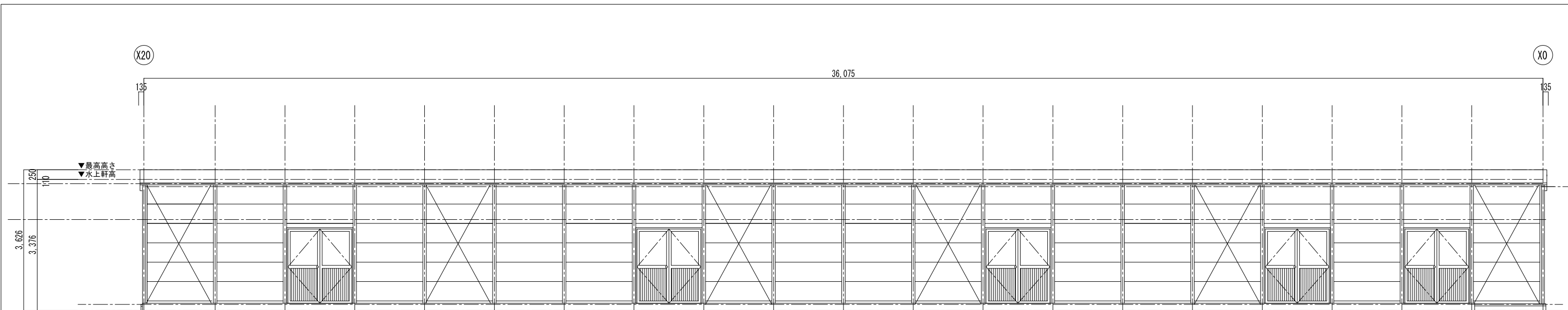
内部仕上表														
階	室名	床高設計	床		外周部巾木	間仕切壁巾木	外周部内壁		内部間仕切り壁		天井 (下地：LGS)		廻縁	備考
		天井高	上段：仕上・下段：下地				上段：仕上・下段：下地		上段：仕上・下段：下地		上段：仕上・下段：下地			
1	倉庫A~D	GL+200	金鍍押さえ	土間コンクリートt=120 (防湿シート t=0.15)	-	ソフト巾木 H=60	カラー鉄板t=0.35 (サンドイッチパネル)	PB t=12.5 素地仕上げ	LGS65	屋根裏露し	-	-	-	床土間コンクリート：誘発目地#3m程度 目地シーリング



建具表 S=1/50	
形式	アルミ両開き戸
仕上・見込	アルミ押出し形材
硝子	乳白色アクリルパネル t=4.0 (下段アルミパネル)
付属金物	握り玉・シリンダー・サムターン錠
備考	額縁：無 網戸：無

消防上無窓階の検計						
階数	床面積 (m²)	係数	必要面積 (m²)	算定式 (W×H) × 数量	有効面積 (m²)	判定
1 F	132.57	1/30	4.41	AD-1 W1,646 x H1,915 x 5カ所=15.76	15.76	有窓
大型開口部 5ヶ所 (AD-1 x 5) ≥ 2ヶ所						

凡例	
▽	出入口を示す
▽	ブレース位置を示す
消	消防上75cm x 120cm以上の大型開口部
消	消防上の開口部 (開口範囲に内接する円の直径50cm以上)
○	自然給気口 200φ VC付
Ⓜ	防火設備 (網入ガラスt=6-8)
特記無き限り 1FL=GL+200	

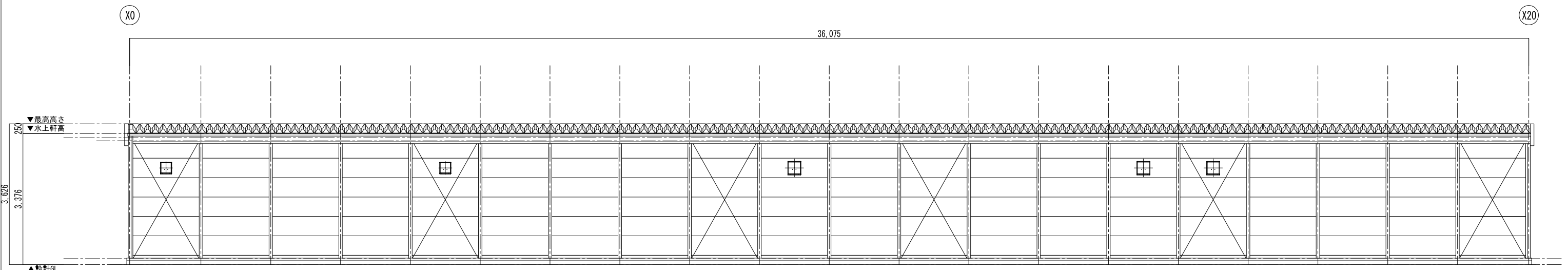


Y2通り側 立面図



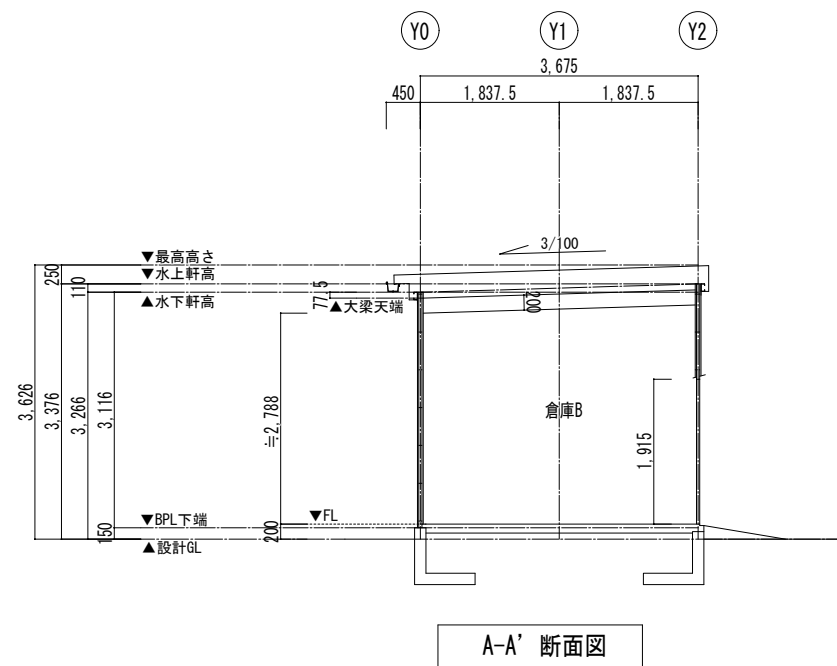
X20通り側 立面図

X0通り側 立面図

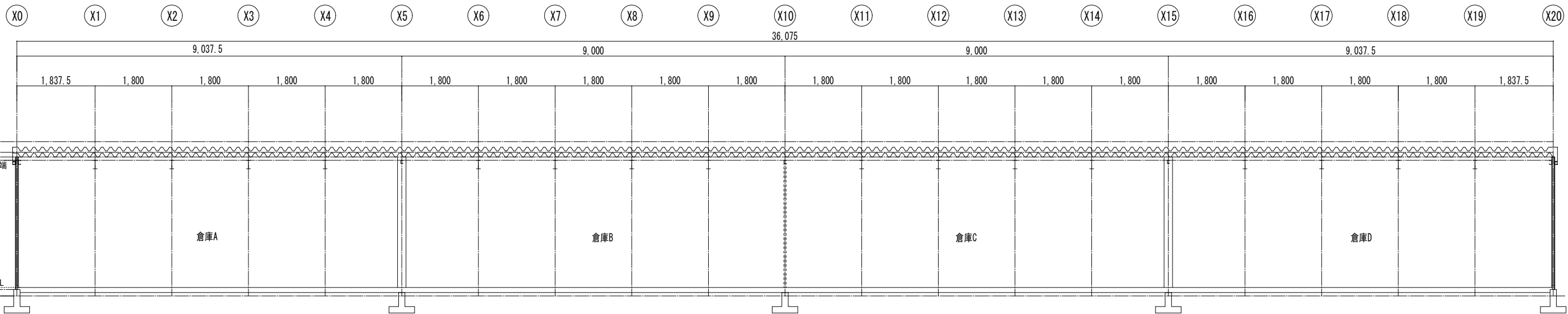


Y0通り側 立面図

市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課 市川市田尻1003番地	部長	次長	課長	主幹	担当	担当	特記事項	設計事務所名	出船建築設計室	棟図	設計	製図	設計年月日	工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃借	図面名称	縮尺	図面番号
									登録番号	千葉県知事登録 第1-1605-5512号	出船	酒井	酒井		工事場所	市川市田尻1003番地	立面図	(A1) 1/50 (A3) 1/100



A-A' 断面図



B-B' 断面図

市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課
市川市田尻1003番地

部長	次長	課長	主幹	担当	担当

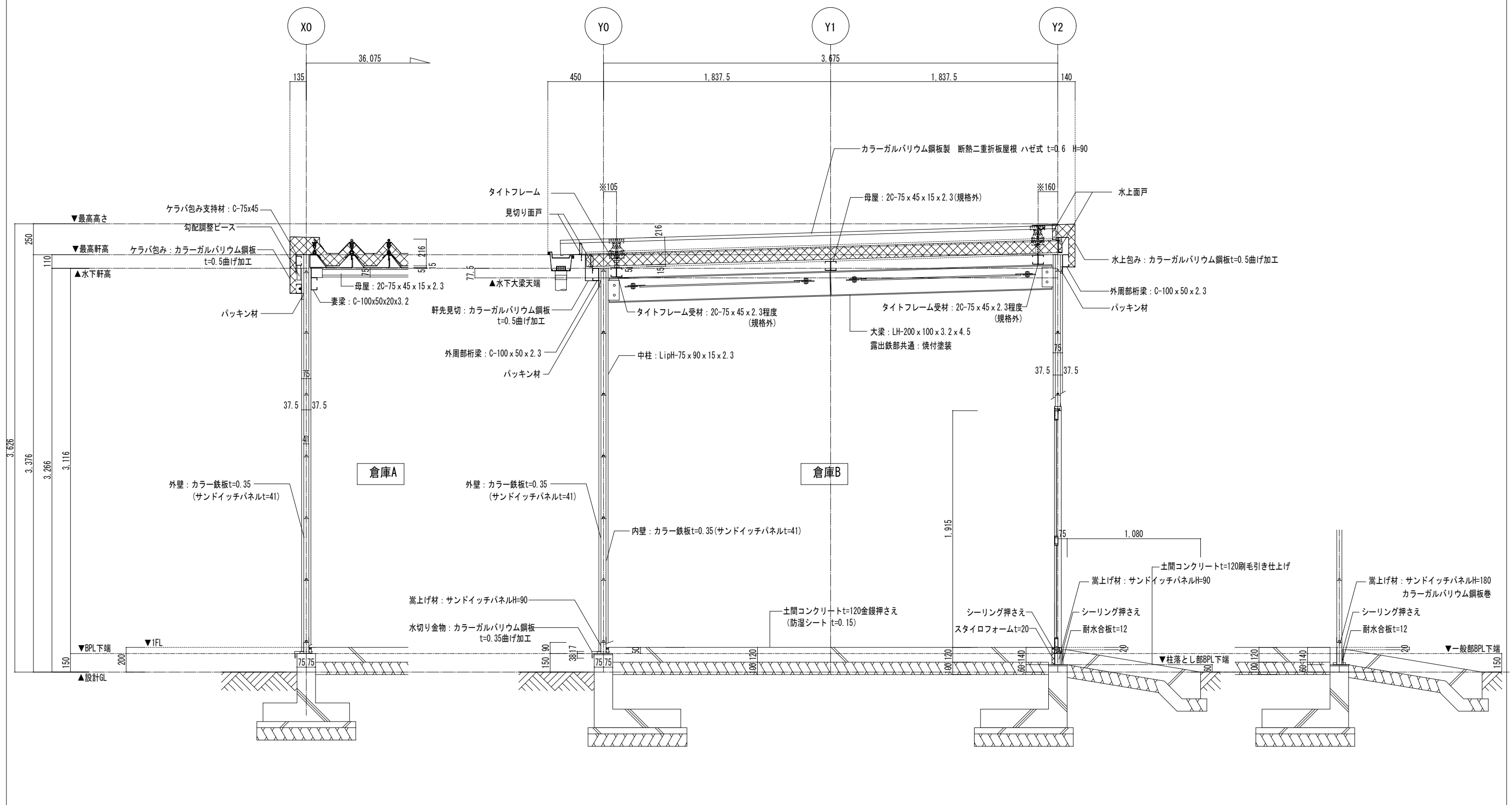
特記事項

設計事務所名 : 出堀建築設計室
 登録番号 : 千葉県知事登録 第1-1605-5512号
 設計者名 : 出堀 義夫
 建築士番号 : 一級建築士 第113243号

検図	設計	製図	設計年月日
出堀	酒井	酒井	

工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃借
工事場所	市川市田尻1003番地

図面名称	縮尺	図面番号
断面図	(A1) 1/50 (A3) 1/100	A-007



桁側矩計図

妻側矩計図

スロープ~パネル落とし部取り合い詳細図

構造部材寸法は構造図を優先する
※印のある寸法は製作図を優先する

市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課 市川市田尻1003番地	部長	次長	課長	主幹	担当	担当	特記事項	設計事務所名	出堀建築設計室	校閲	設計	製図	設計年月日	工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借	図面名称	縮尺	図面番号
								設計事務所登録番号	千葉県知事登録 第1-1605-5512号	出堀	酒井	酒井		工事場所	市川市田尻1003番地	矩計図	(A1) 1/15 (A3) 1/30	A-008

隣地境界線

送電線

TP3.95

鉄塔

鉄塔

カツカイキ

アスファルト舗装
(電気の幹線 埋設のおそれ)

緑石w150×H180新設
木柱(東電)

カツカイキ h=1.5 c=0.01 w=0.5 伐採伐根

高木ヤマモモ h=6.8 C=500 W=3.0 伐採伐根

既存緑石撤去の上777mm舗装

再生砕石新設(d=50)

止水弁

IFL=TP4.15(既存現況)M=TP3.95

退出路

高木ヤマモモ h=4.0 C=500 W=3.0 伐採伐根

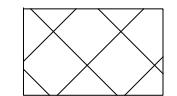
止水弁(既設)
移送機械設置工事

交通標識 取り外し 1ヶ所
(進入禁止マーク h=2,500 基礎共)

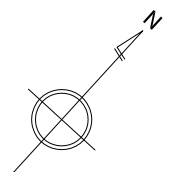
交通標識 再取付け 1ヶ所
(進入禁止マーク h=2,500 基礎共)

(斜線部) つつじ伐採伐根 h=800, W=600 50 株

防火水槽



: 草刈り範囲 (684m2)



土壌調査(28品目)を含む

市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課
市川市田尻1003番地

部長	次長	課長	主幹	担当	担当
----	----	----	----	----	----

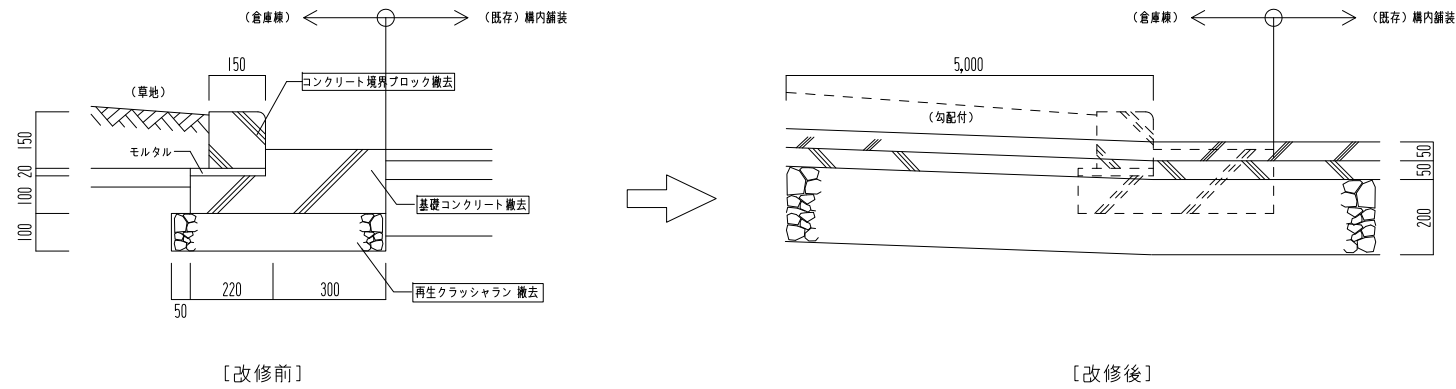
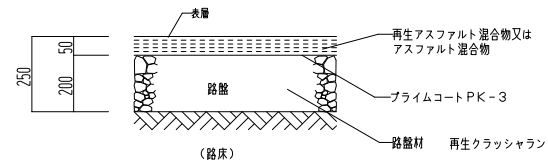
特記事項	
------	--

設計事務所名 : 出堀建築設計室
 登録番号 : 千葉県知事登録 第1-1605-5512号
 設計者名 : 出堀 義夫
 建築士番号 : 一級建築士 第113243号

練図	設計	製図	設計年月日
出堀	酒井	酒井	

工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借
工事場所	市川市田尻1003番地

図面名称	縮尺	図面番号
既存配置図	(A1)1/100 (A3)1/200	A-009



樹木リスト(伐採・伐根)

番号	分類	樹種	樹高 m	幹周 m	葉張り m	数量	単位
1	高木	ヤマモモ	4.0	4.0	3.0	1	本
2	高木	ヤマモモ	5.0	4.0	3.0	1	本
3	低木	カイヅカイブキ	1.5	0.01	0.5	1	本
4	低木	つつじ	0.8		0.5	50	本
5	地覆	(既存) 野芝					

構造設計標準仕様 (施工方法等計画書) 注：適用は●印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 市川市クリーンセンター倉庫棟新築工事
(2) 工事種別
(3) 構造設計一級建築士の関与種別
(4) 構造種別
(5) 階数
(6) 主要用途
(7) 屋上付属物
(8) 特別な荷重
(9) 付帯工事
(10) 増築計画
(11) 計算ルート

2. 使用構造材料

Table with columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 品質基準強度, 調査管理番号, 水セメント比, スランプ, 備考. Includes concrete and steel reinforcement details.

- (2) コンクリートブロック
(3) 鉄筋

Table for reinforcement (鉄筋) showing grades (SD295 A, B, C, D19, D17, D13, etc.), diameters, and usage locations.

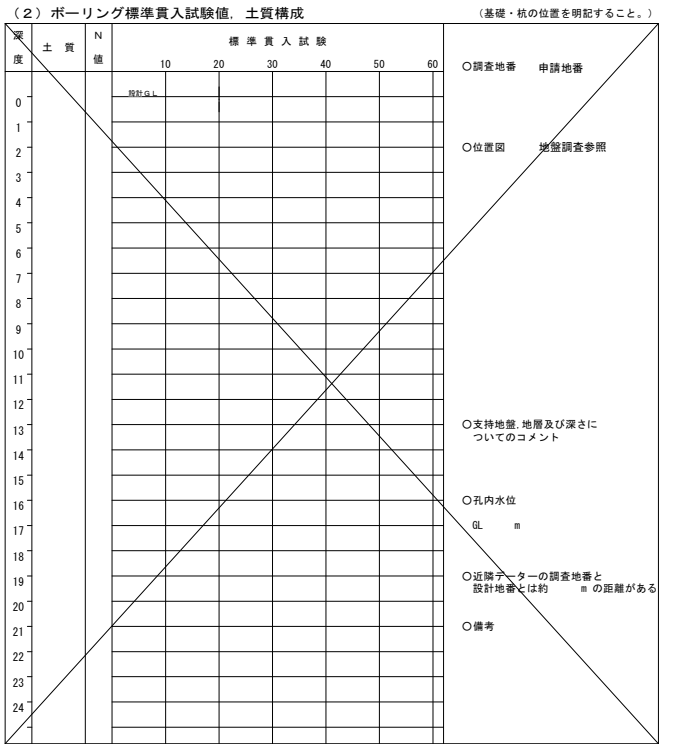
Table for beams, floors, and walls (鉄骨, 屋根, 床, 壁) listing types, materials, and design details.

Table for bolts (ボルト) and nuts (ナット) listing specifications like F10T, F8T, M12, etc.

Table for wooden materials (木材) listing types like 折板, 特殊デッキプレート, etc.

3. 地盤

Table for ground investigation (地盤調査資料) with columns for items, materials, and survey plans.



4. 地業工事

- (1) 直接基礎
(2) 地盤改良
(3) 杭基礎

Table for pile foundations (杭基礎) detailing materials, construction methods, and design parameters.

Table for ground improvement (地業工事) including pile cap design, ground improvement methods, and pile parameters.

5. 鉄筋コンクリート工事

- 注：本構造設計特記仕様書は、コンクリートの設計基準強度 (F_c) が 36 N/mm² 以下に適用し、鉄筋の材質は SD390 以下に適用する。
(1) コンクリート
(2) 鉄筋

Table for steel reinforcement construction (鉄筋継手) showing joint types, grades, and design conditions.

- (3) 試験
(4) 型枠

Table for formwork (型枠) detailing slab and column specifications, materials, and construction methods.

- 注 1. 1并柱より、底、スパン 9.0m の受下は、工事監督者の指示による。
注 2. 大梁の支柱の張りかえは行わない。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 工事監督者の承諾を必要とするもの
(3) 工事監督者が行う検査項目
(4) 接合部の溶接は下記によること
(5) 接合部の検査
(6) ボルトの検査
(7) 防錆塗料
(8) 耐火被覆の材料

Table for welded joints (溶接) showing inspection methods, frequencies, and standards for various joint types.

- 注 1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を 100% 行うこと
注 2) 知事が定期的に重大な不具合が発生した場合は、是正前に対象作業を建築主事等に報告すること

7. 設備関係

- 建設設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
建設設備 (昇降機を除く) の支持構造部及び架台部には、組み立て、防戦のための有効な措置を講ずること。

8. その他

- 参考とする工事標準仕様書は、全て最新版とする。
諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。

Project information table including client (市川市 環境部), designer (出堀建築設計), and construction site (市川市田尻1003番地).

鉄骨構造標準図（1）

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による。
 - (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。
※ 但し、ベースプレートの厚さは除く。
 - (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する。
- (2) 作業一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。
 - (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による。
 - (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする。
- (3) 高力ボルト接合
- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接工
溶接工は施工する溶接に適合する JIS Z 3801（手溶接）又は JIS Z 3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
 - (b) 溶接機器
① 交流アーク溶接機 300A~500A
② アークエアガウジング機（直流）600A
③ 溶接棒乾燥機
④ 炭酸ガスアーク半自動溶接機
⑤ 溶接電流を測定する電流計
⑥ サブマージドアーク溶接機1式
 - (c) 溶接方法
アーク手溶接（MC）
ノンガスシールドアーク溶接（NGC）
ガスシールドアーク溶接（GC）
アークエアガウジング（AAG）
 - (d) 溶接姿勢
下向（F） 立向（V） 横向（H） 上向（O）
- (e) 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う。
- (f) 仮付位置
仮付溶接は溶接の始・終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける。
- (g) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。
- (h) 溶接施工
- (i) エンドタブ
I 突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける。
II エンドタブの材質は、母材と同質とする。
III エンドタブの長さは、MC: 35mm 以上
NGC, GC: 40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
IV プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る。
 - (j) 裏あて金
材質は母材と同質材料とする。
 - (k) スカーラップ
半径は30~35mmとする。
 - (l) 裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける。
 - (m) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう。
- (5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2. 溶接規準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース
S: 脚長 (単位: mm)

(1) スミ肉溶接

	2mm < t ≤ 6mm	6mm < t ≤ 16mm
t	2.3 3.2 4.5 6 9 12 13~16	6 9 12 13~16
S	2.3 3.2 4.5 5 7 9 12	6 9 12 13~16

(2) フレア溶接

寸法 (mm)	φ	B	S
φ	9	7	4.0
φ	13	8	4.5
φ	16	9	5.0
φ	19	10	6.0
φ	22	11	7.0
φ	25	12	8.0

(3) 部分溶け込み溶接 (使用箇所) に注意

t	6mm < t < 19mm
溶接姿勢	F.V

(4) 突合せ溶接 (平継手 T形継手)

t	6mm < t < 19mm
溶接姿勢	F.V

(5) T形突合せ継手余盛

のど厚t (mm)	余盛の高さ (mm)
t ≤ 4	1
4 < t ≤ 12	2
12 < t ≤ 19	3
t < 19	4

(6) 1mm ≤ f ≤ 4mm の場合

t	6mm < t < 19mm
溶接姿勢	F.V

● 通しダイヤフラム 板厚 16mm 未満は、SN490B・SN490C
通しダイヤフラム 板厚 16mm 以上は、SN490C

○ B O X 型 (通しダイヤフラムの場合)

○ H、B、H 型

○ 軽量鋼フィレット部詳細図

○ 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料と入熱量・バス開温度		鋼材の種類	溶接材料と入熱量・バス開温度		
	溶接材料	入熱 (kJ/cm)		バス開温度 (°C)	溶接材料	入熱 (kJ/cm)
400 N/mm ² 級鋼	JIS Z 3312	40 以下	490 N/mm ² 級鋼	JIS Z 3312	40 以下	350 以下
	YGW-11・15	30 以下		YGW-11・15	30 以下	250 以下
	YGW-18・19	40 以下		YGW-18・19	40 以下	350 以下
	JIS Z 3315	40 以下		JIS Z 3315	40 以下	350 以下
	YGA-50W・50P	40 以下		YGA-50W・50P	40 以下	350 以下

注: STKR・BCP・BCP は JIS Z 3312 のみ使用可
「構造設計仕様書 6. 鉄骨工事 (2) 認定または登録工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による。

鉄骨構造標準図（2）

※修正箇所は下線を引くこと。

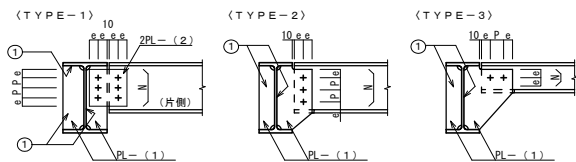
3. 継手標準図、その他

(1) 高力ボルト・ボルト・アンカーボルトピッチ (P)

呼び径 d	ボルト 穴径	最小縁端距離 (e)			ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	最小	標準
高力ボルト	M12	14.0	30	22	18	30
	M16	18.0	40	28	22	40
	M20	22.0	50	34	26	40
	M22	24.0	55	38	28	40
	M24	26.0	60	44	30	45
アンカーボルト・ボルト	M16	21 (17.0)	28	22	(40)	(60)
	M20	25 (21.0)	34	26	(40)	(60)
	M22	27 (23.0)	38	28	(40)	(60)
	M24	29 (25.0)	44	32	(45)	(70)
	M27	32.0	49	36		
M30	35.0	54	40			
M34	呼び径+5	9d/5	4d/3			

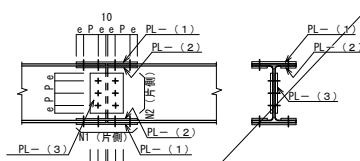
【注】 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のり引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

(2) ビン接合梁継手リスト



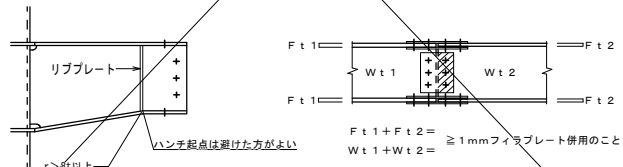
符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
		部材リスト参照			

(3) 剛接合継手リスト (SCSS-H97による)



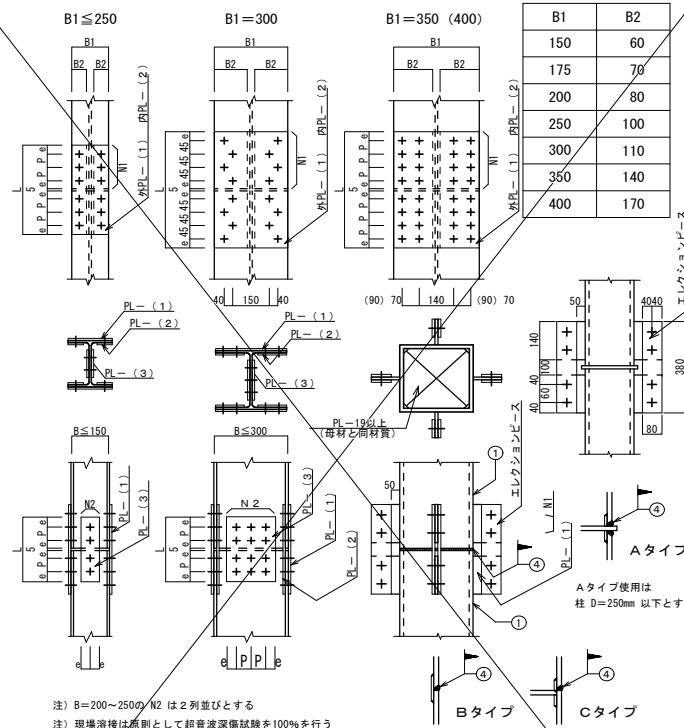
符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径

(4) ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通 1 : 4 程度であるが構造図による
 r: 半径 t: 板厚

(5) 柱継手リスト (SCSS-H97による)



注) B=200~250のN2は2列並びとする
 注) 現場溶接は原則として超音波深層試験を100%を行う

符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径

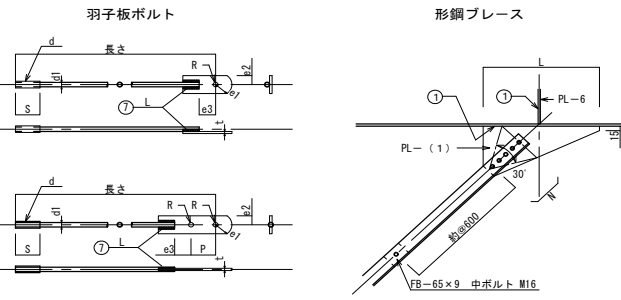
(6) プレース (JIS規格品とする・JIS A 5540・1982・5541・5542・2008)

採用	ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
		最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33
最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	
調整ねじの長さ	s	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径	R	13.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
許容差 ±0.0~0.5mm								
はしあき (最小) (2) e1	35	40	45	50	50	55	50	
へりあき (1) e2	22	28	28	34	34	38	38	
切板製	板厚 t	4.5	6.0	6.0	9.0	9.0	9.0	
へりあき (1) e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5	
平鋼製	板厚 t	4.5	6.0	6.0	9.0	9.0	9.0	
ボルト端から取付ボルト穴のあき (最小)	e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ (最小)	L	40	50	55	60	75	85	85

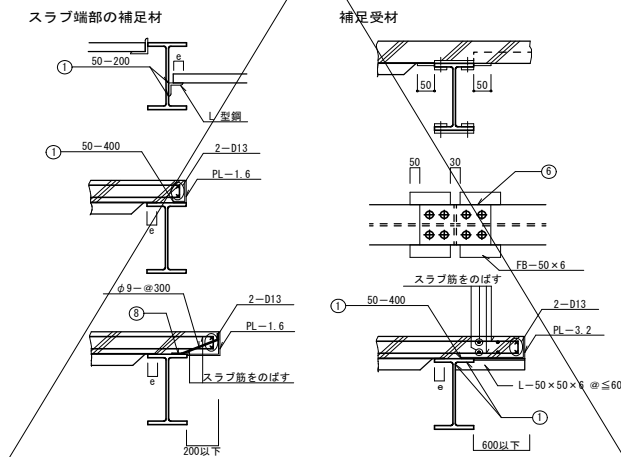
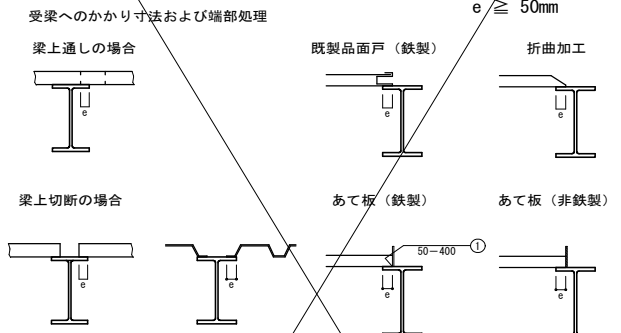
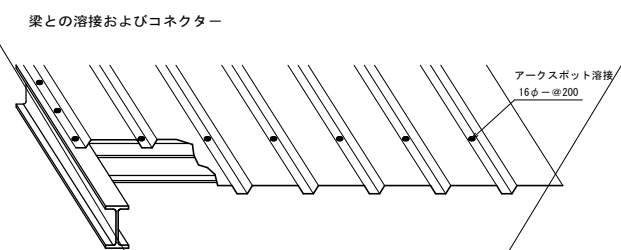
注) (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい
 (2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断 (支圧) 接合とする

(b) 形鋼ブレース

符号	部材	PL-(1)	N-径	L

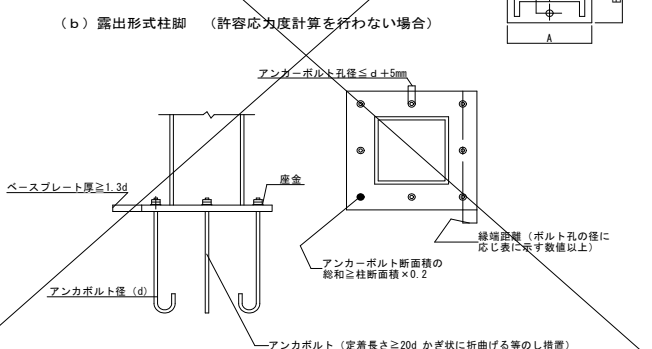


(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)



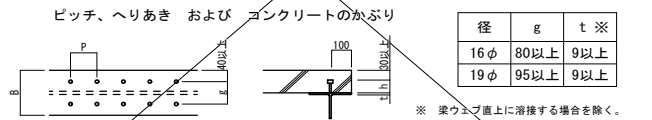
(8) 露出柱脚 (b) H形鋼 (ピン) 間柱 B.PL

符号	部材	アンカーボルト 径 L 本数	ベースプレート 厚 A B g	備考



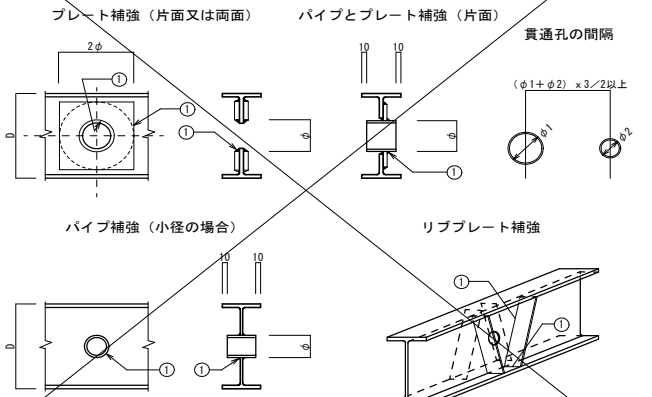
(9) 頭付きスタッド (JIS B 1198)

形状	スタッド材				
	呼び名	軸径 d (mm)	頭径 D (mm)	頭高さ T (mm)	溶接後の長さ L (mm)
φ13 mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130	
	12.7	25.4	7.9		
φ16 mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130	
	15.8	31.7	7.9		
φ19 mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150	
	19.0	31.7	9.5		
φ22 mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150	
	22.2	34.9	9.5		



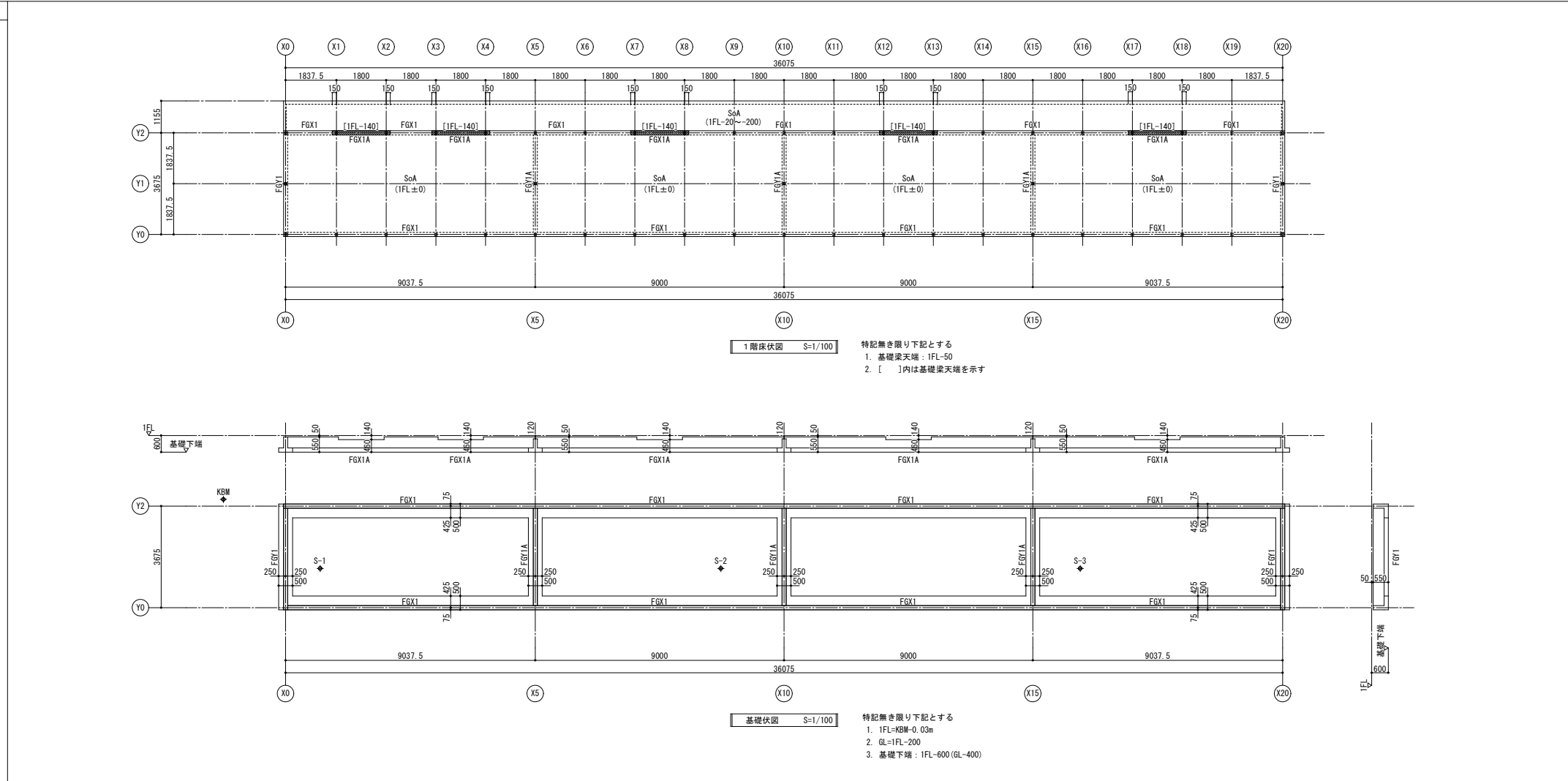
部位	梁幅	スタッド	
		列	径
大梁	B ≥ 300	2	19φ
	B < 300	1	19φ
小梁	B ≥ 300	2	16φ
	B < 300	1	16φ

●計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
 ●梁補強 (スパンのL/10以内かつ2D以内) は避ける
 ●φ ≤ 0.4D



地盤調査資料 S-N.S. 調査位置は基礎伏図内に示す

スウェーデン式サウンディング試験 S-1										スウェーデン式サウンディング試験 S-2										スウェーデン式サウンディング試験 S-3									
層	深さ	貫入速度	貫入抵抗	標準貫入値	層厚	層名	深さ	貫入速度	貫入抵抗	標準貫入値	層厚	層名	深さ	貫入速度	貫入抵抗	標準貫入値	層厚	層名	深さ	貫入速度	貫入抵抗	標準貫入値	層厚	層名					
1.00	0.25	25	20	4.0	1.00	0.25	25	20	4.0	1.00	0.25	25	20	4.0	1.00	0.25	25	20	4.0	1.00	0.25	25	20	4.0	1.00	0.25	25	20	4.0



構造関係共通図

1. 一般事項

1-1 かぶり厚さ

(1) 各部位の設計かぶり厚さは、表1.1による。
 (2) 表1.1に示さない設計かぶり厚さを指定するときは、設計図書に記載する。
 (3) ひび割れ発生を抑制し、施工時などに必要となる箇所は、防錆処理を施した鉄筋を使用するか、目地部から必要かぶり厚さを確保する。

部材の種類	短期	標準	長期	層内	層外
構造部材	40	40	50	40	50
非構造部材	30	30	40	40	50

1-2 鉄筋のあきと鉄筋間隔

(1) 鉄筋のあきと鉄筋間隔の最小値は表1.2による。

鉄筋の種類	鉄筋のあき	鉄筋間隔
異形鉄筋	鉄筋の直径の1.5倍 ・ 標準材最大寸法の1.25倍 ・ 25mm のうち最も大きい数値	呼び名の数値の1.5倍 ・ 標準材最大寸法の1.25倍 ・ 25mm のうち最も大きい数値
丸鉄筋	鉄筋の直径の1.5倍 ・ 標準材最大寸法の1.25倍 ・ 25mm のうち最も大きい数値	鉄筋径の数値の1.5倍 ・ 標準材最大寸法の1.25倍 ・ 25mm のうち最も大きい数値

1-3 鉄筋の折曲げ

(1) 鉄筋の折曲げ形状と寸法は表1.3による。

折曲げ角度	鉄筋の種類	鉄筋の折曲げによる区分	鉄筋の折曲げ内法距離(D)
180°	SD295A SD295B SD345	D16以下	3d以上
135°		D19~D41	4d以上
90°	SD390	D41以上	5d以上
	SD490	D25~D41	6d以上

1-4 定着及び重ね継手長さ

1-4-1 重ね継手長さ

(1) 重ね継手長さは表1.4(a)による。
 (2) 直線重ね継手長さは「L1」、フック付き重ね継手長さは「L1h」とする。

コンクリートの設計基準強度 (F _c)	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
18	L1: 45d L1h: 35d	L1: 50d L1h: 35d	L1: 50d L1h: 35d	L1: 50d L1h: 35d
21	L1: 40d L1h: 30d	L1: 45d L1h: 30d	L1: 45d L1h: 30d	L1: 45d L1h: 30d
24~27	L1: 35d L1h: 25d	L1: 40d L1h: 25d	L1: 40d L1h: 25d	L1: 40d L1h: 25d
30~35	L1: 35d L1h: 25d	L1: 35d L1h: 25d	L1: 35d L1h: 25d	L1: 35d L1h: 25d
39~45	L1: 30d L1h: 20d	L1: 30d L1h: 20d	L1: 30d L1h: 20d	L1: 30d L1h: 20d

1-4-2 鉄筋の定着長さ

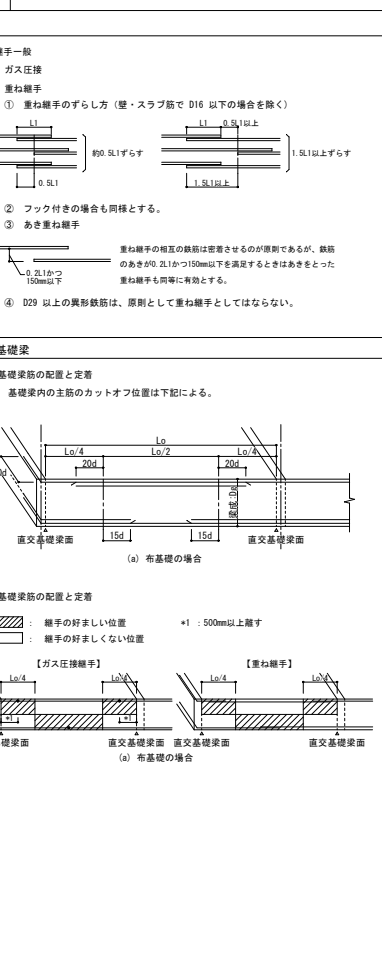
(1) 鉄筋の定着長さは表1.4(b)による。
 (2) 直線定着長さは「L2」、フック付き定着長さは「L2h」とする。
 (3) 仕口内に90°折曲げ定着する異形鉄筋の投影定着長さは表1.4(c)による。
 (4) 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さは「L」; 小梁、スラブ上端筋の梁内折曲げ投影定着長さは「Lb」とする。

コンクリートの設計基準強度 (F _c)	SD295A SD295B	SD345	SD390	SD490
18	L2: 40d L2h: 30d	L2: 40d L2h: 30d	L2: 40d L2h: 30d	L2: 40d L2h: 30d
21	L2: 35d L2h: 25d	L2: 35d L2h: 25d	L2: 35d L2h: 25d	L2: 35d L2h: 25d
24~27	L2: 30d L2h: 20d	L2: 30d L2h: 20d	L2: 30d L2h: 20d	L2: 30d L2h: 20d
30~35	L2: 30d L2h: 20d	L2: 30d L2h: 20d	L2: 30d L2h: 20d	L2: 30d L2h: 20d
39~45	L2: 25d L2h: 15d	L2: 25d L2h: 15d	L2: 25d L2h: 15d	L2: 25d L2h: 15d

1-4-3 小梁・スラブ下端筋の定着長さ

(1) 小梁・スラブ下端筋の定着長さは表1.4(d)による。

コンクリートの設計基準強度 (F _c)	鉄筋の種類	小梁下端筋	スラブ下端筋
18~45	SD295A SD295B SD345 SD390	20d	10d かつ 150mm 以上



使用材料・地業

適用箇所	種類	設計 F _c	品質 F _q	調合 F _m	スランプ cm
柱コンクリート	■ 普通	18	-	-	15
基礎	■ 普通	21	24	24 mSn ^(*)	18

鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■ SD295A	D10・D13	基礎・基礎梁・土間
			■ 重ね継手

地業工事

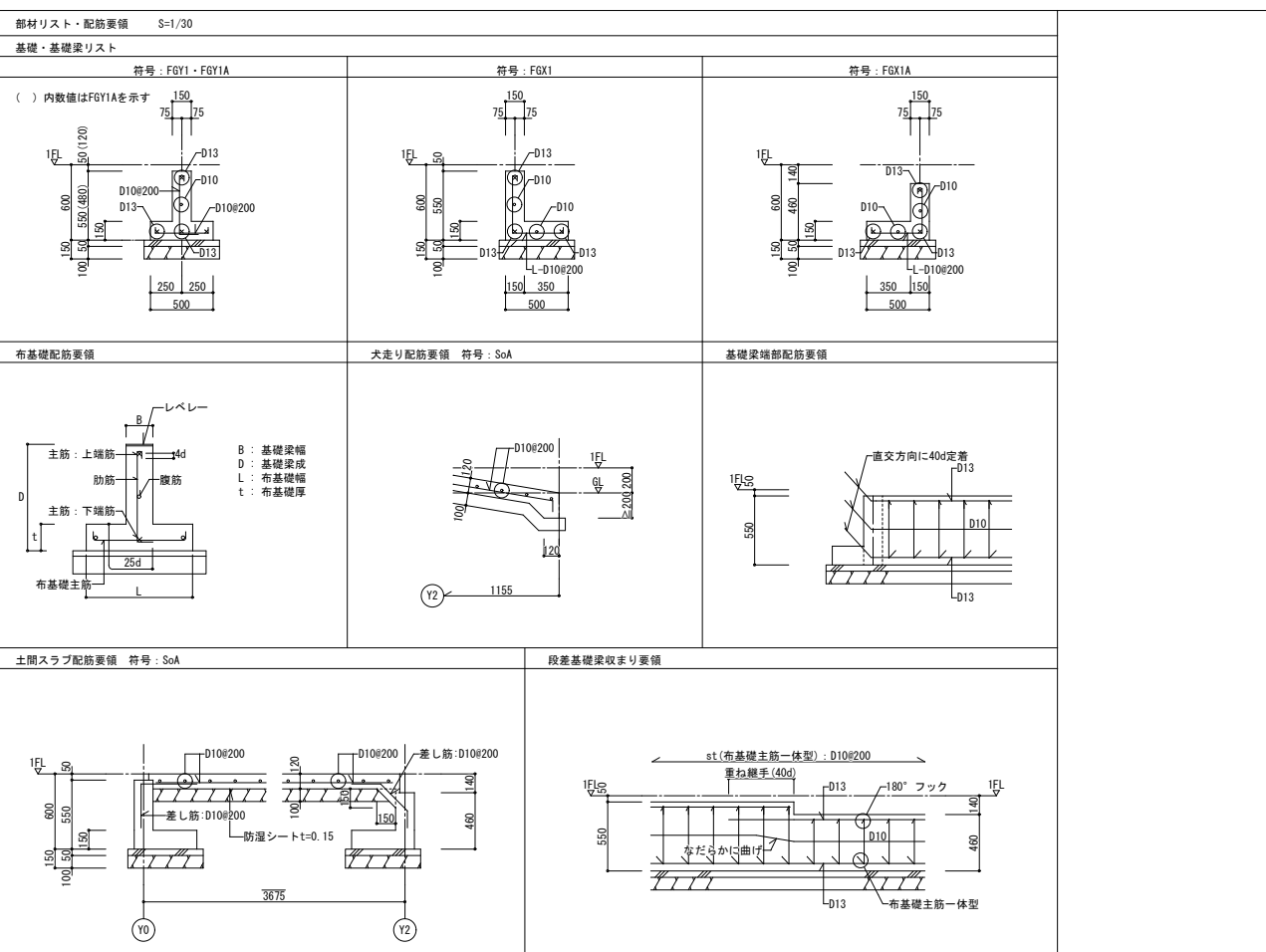
基礎下層: IFL-0.6m (GL-0.4m)
 必要地耐力: fe=30kN/m²

地業

直接基礎
 ベタ基礎
 布基礎
 独立基礎

土工間下

土工間下

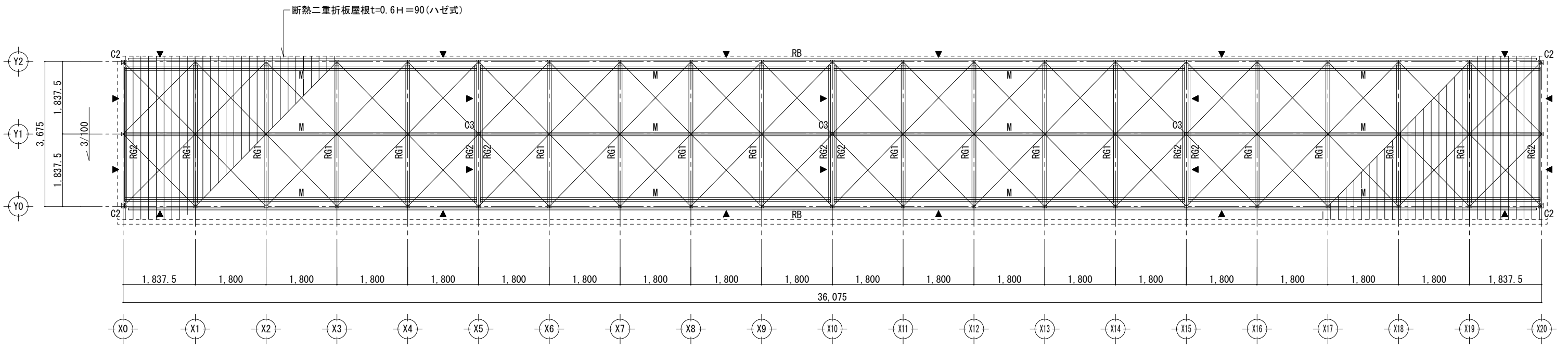


市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課
 市川市田尻1003番地

部長	次長	課長	主幹	担当	担当	特記事項

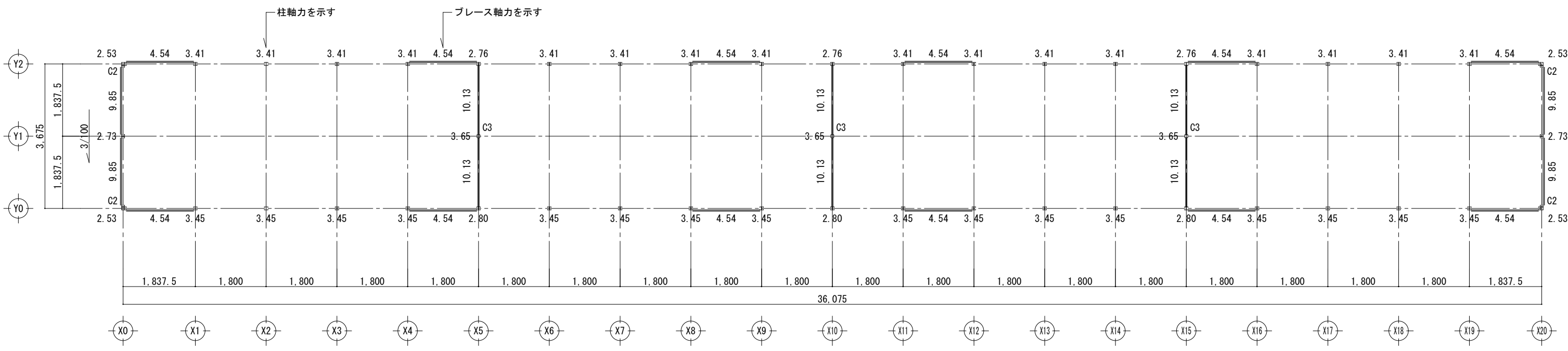
設計事務所名: 出根建築設計室
 登録番号: 千葉県知事登録 第1-1605-5512号
 設計者名: 出根 義夫
 建築士番号: 一級建築士 第113243号

検図	設計	製図	設計年月日	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
出根	酒井	坂田		市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借	基礎伏図・1階床伏図・部材リスト図	(A1) 1/30・1/100 (A3) 1/60・1/200	S-004



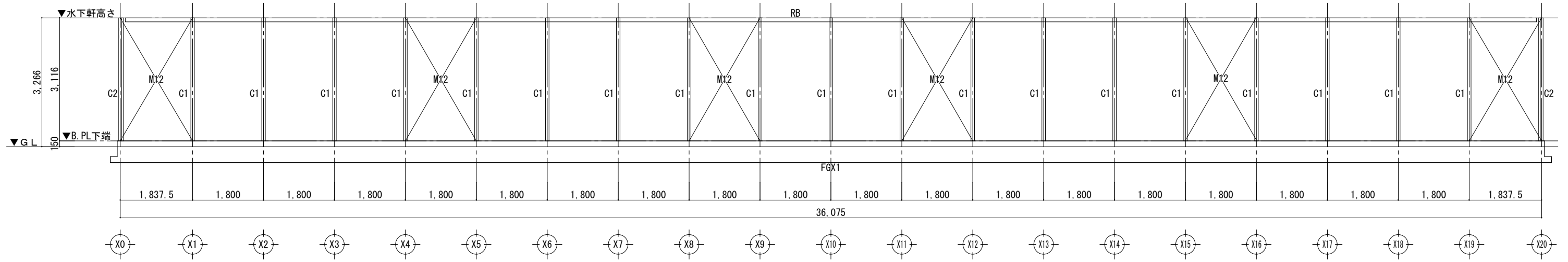
梁伏図

特記事項	
C1	明記無き 桁柱・妻柱
C2	隅柱
C3	中柱
— ▲	鉛直ブレースの位置を示す

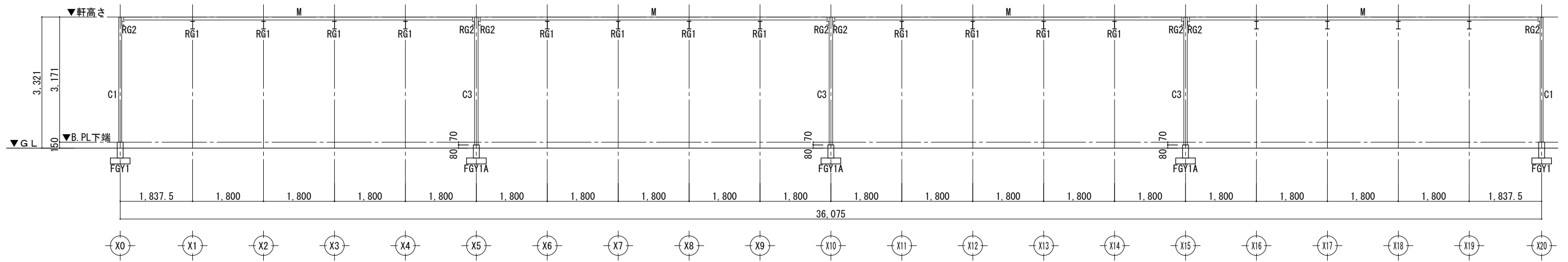


軸力図

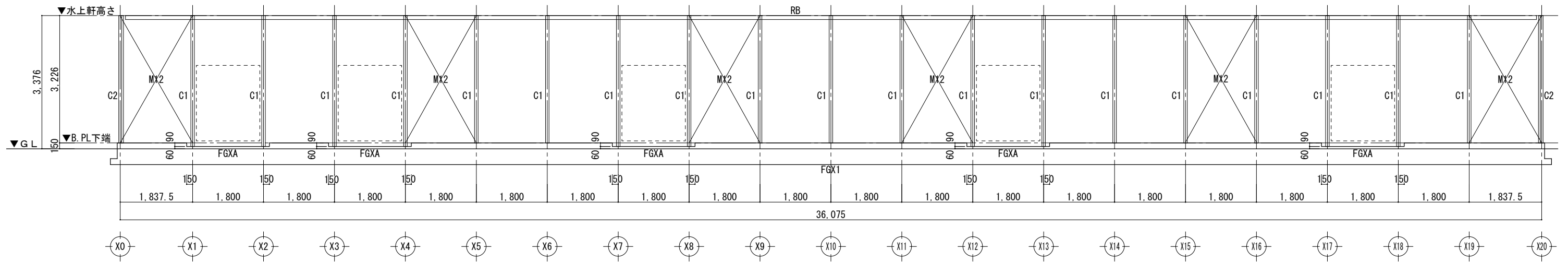
躯体軸力=152.97kN



Y0軸組図

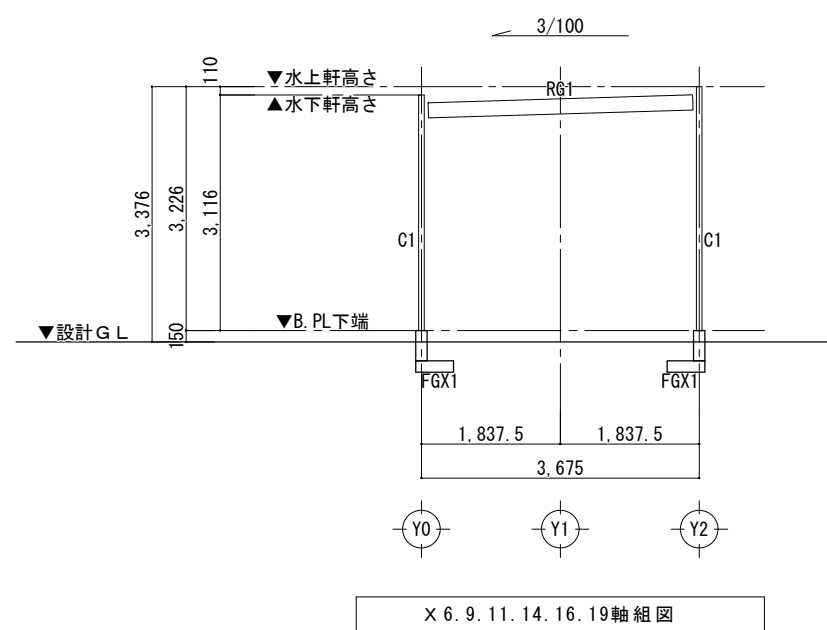
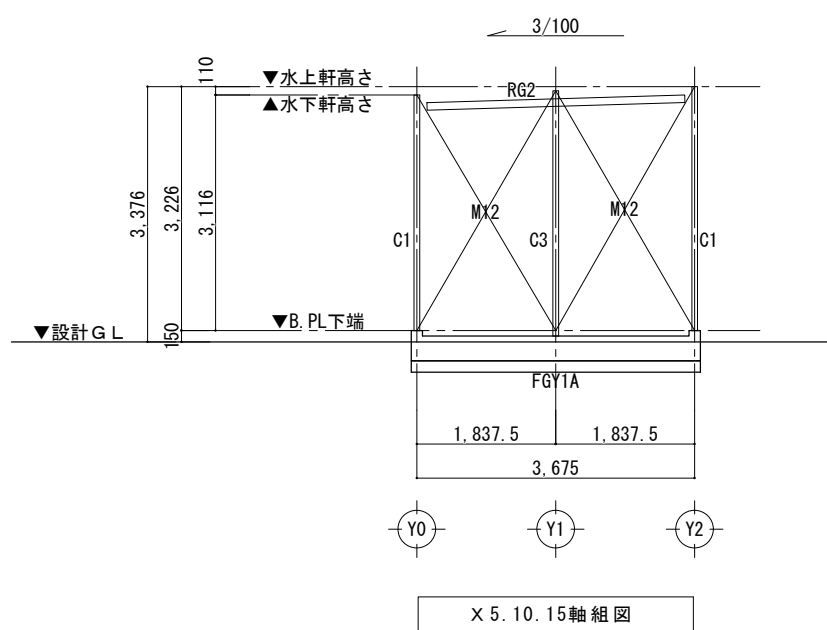
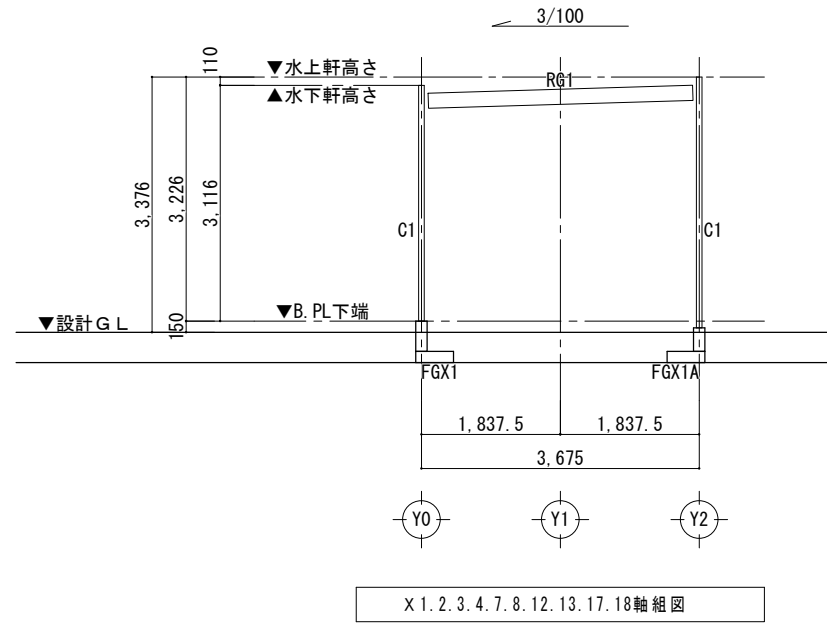
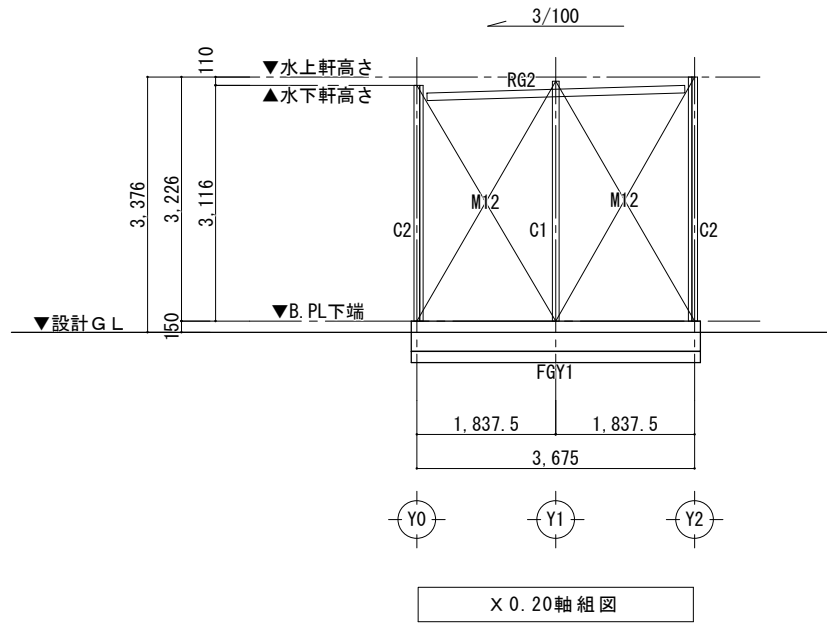


Y1軸組図



Y2軸組図

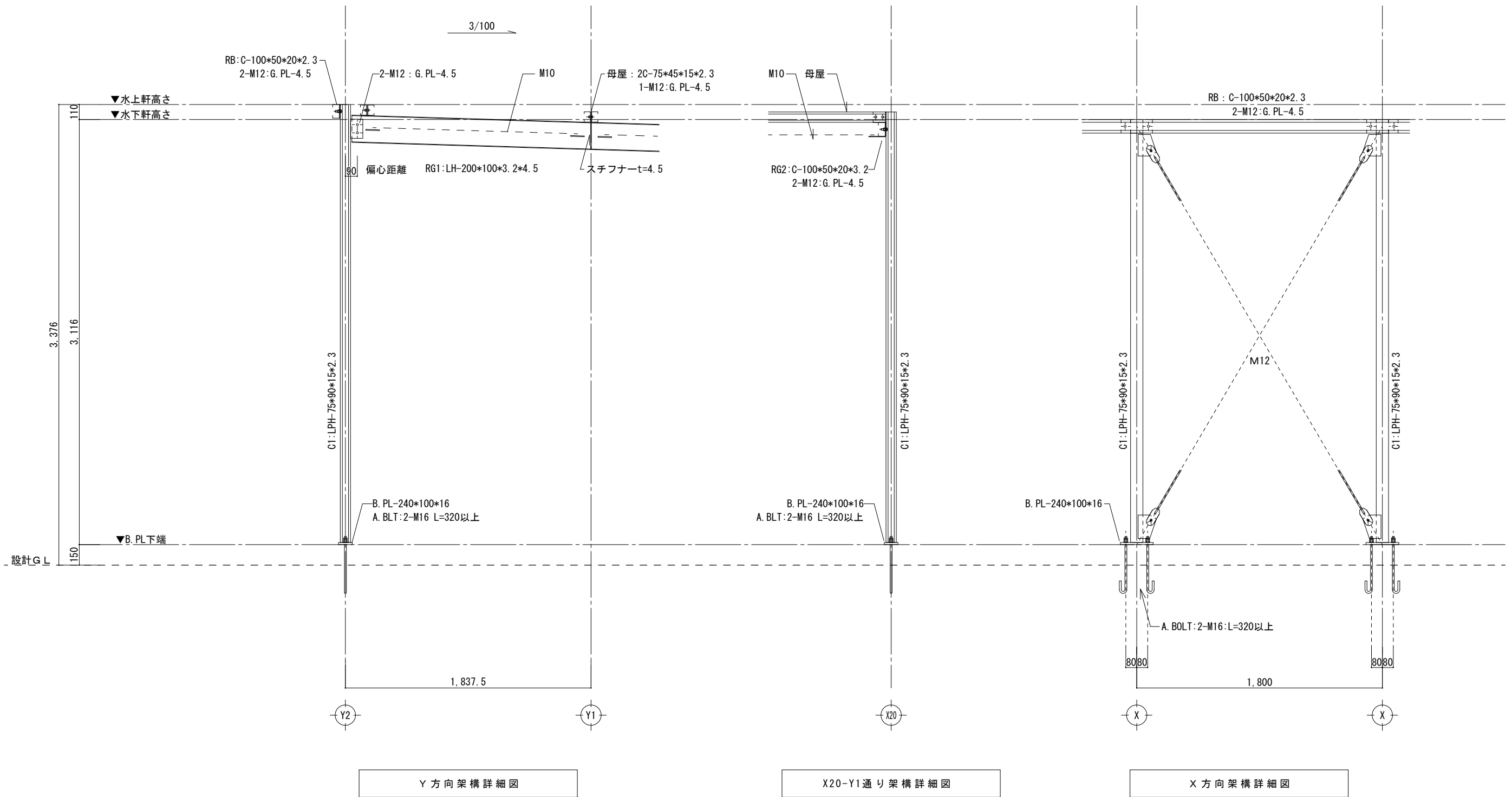
市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課 市川市田尻1003番地	部長	次長	課長	主幹	担当	担当	特記事項	設計事務所名	出掘	設計	展開	設計年月日	工事名称	市川市クリーンセンター倉庫模倣賃借	図面名称	縮尺	図面番号
								設計事務所名 : 出掘建築設計室 登録番号 : 千葉県知事登録 第1-1605-5512号 設計者名 : 出掘 義夫 建築士番号 : 一級建築士 第113243号	酒井	前田			市川市田尻1003番地	軸組図 (1)	(A1) 1/50 (A3) 1/100	S-006	



市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課 市川市田尻1003番地	部長	次長	課長	主幹	担当	担当	特記事項	設計事務所名	出堀建築設計室	校閲	設計	展開	設計年月日	工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借	図面名称	縮尺	図面番号
								登録番号 : 千葉県知事登録 第1-1605-5512号 設計者名 : 出堀 義夫 建築士番号 : 一級建築士 第113243号	出堀 酒井 前田				工事場所 : 市川市田尻1003番地	軸組図 (2)	(A1) 1/50 (A3) 1/100	S-007		

鉄骨部材リスト

符号	C1	C2	C3	アンカーボルトの定着長さ				水平ブレース (M10)		1F鉛直ブレース (M12)			
断面													
部材	LPH-75*90*15*2.3 SWH400L	□-75*75*2.3 2C-75*45*15*2.3 STKR400 SSC400	□-75*75*2.3 STKR400	L=M16*20=320以上(Wナット) 先端をフック状とする FGY1A・FGY1A				M10転造ねじ(TB付) 羽子板PL-109*44*4.5 SS400	SS400	M12転造ねじ(JIS規格TB付) 羽子板PL-136*58*6 SS400	SS400		
継手	B. PL-240*100*16 A. BLT:2-M16(Wナット)L=320 SS400 SNR400B	B. PL-(207.5+107.5)*100*16 A. BLT:2-M16(Wナット)L=320 SS400 SNR400B	B. PL-240*100*16 A. BLT:2-M16(Wナット)L=320 SS400 SNR400B					1-M12(HTB.F8T又はF10T):G.PL-4.5 母材t=3.2(溶接長さ40mm以上)		1-M16(HTB.F8T又はF10T):G.PL-6 母材t=2.3(溶接長さ80mm以上)			
符号	RG1	RG2			RB				M(母屋)				
断面													
部材	LH-200*100*3.2*4.5 SWH400	C-100*50*20*3.2 SSC400			C-100*50*20*2.3 SSC400				2C-75*45*15*2.3 SSC400				
継手	2-M12 G.PL-4.5 SS400	2-M12 G.PL-4.5	2-M12 G.PL-4.5	2-M12 G.PL-4.5	SS400	2-M12 G.PL-4.5	2-M12 G.PL-4.5	2-M12 G.PL-4.5	SS400	2-M12 G.PL-4.5	1-M12 G.PL-4.5	2-M12 G.PL-4.5	SS400
符号	屋根材	使用材料											
断面													
部材	断熱二重折板t=0.6H=90												
継手	ハゼ式												
種類	JIS記号	名称											
鉄骨	SS400	一般構造用圧延鋼材											
	SDP2G	一般構造用圧延鋼材・圧延鋼帯											
	SSC400	一般構造用軽量形鋼											
	SWH400	一般構造用軽量H形鋼											
	SWH400L	一般構造用軽量リップH形鋼											
	STKR400	一般構造用角形鋼管											
接合	F4T	中ボルト(強度区分4.8) スプリングワッシャーによる戻り止めを設ける 接合部は特記なき限り中ボルトとする											
	F8T又はF10T	高力ボルト(ブレース用) 一面せん断(支圧)接合											
	SNR400B 転造ねじ	アンカーボルト(Wナット) (素材降伏比80%以下)											



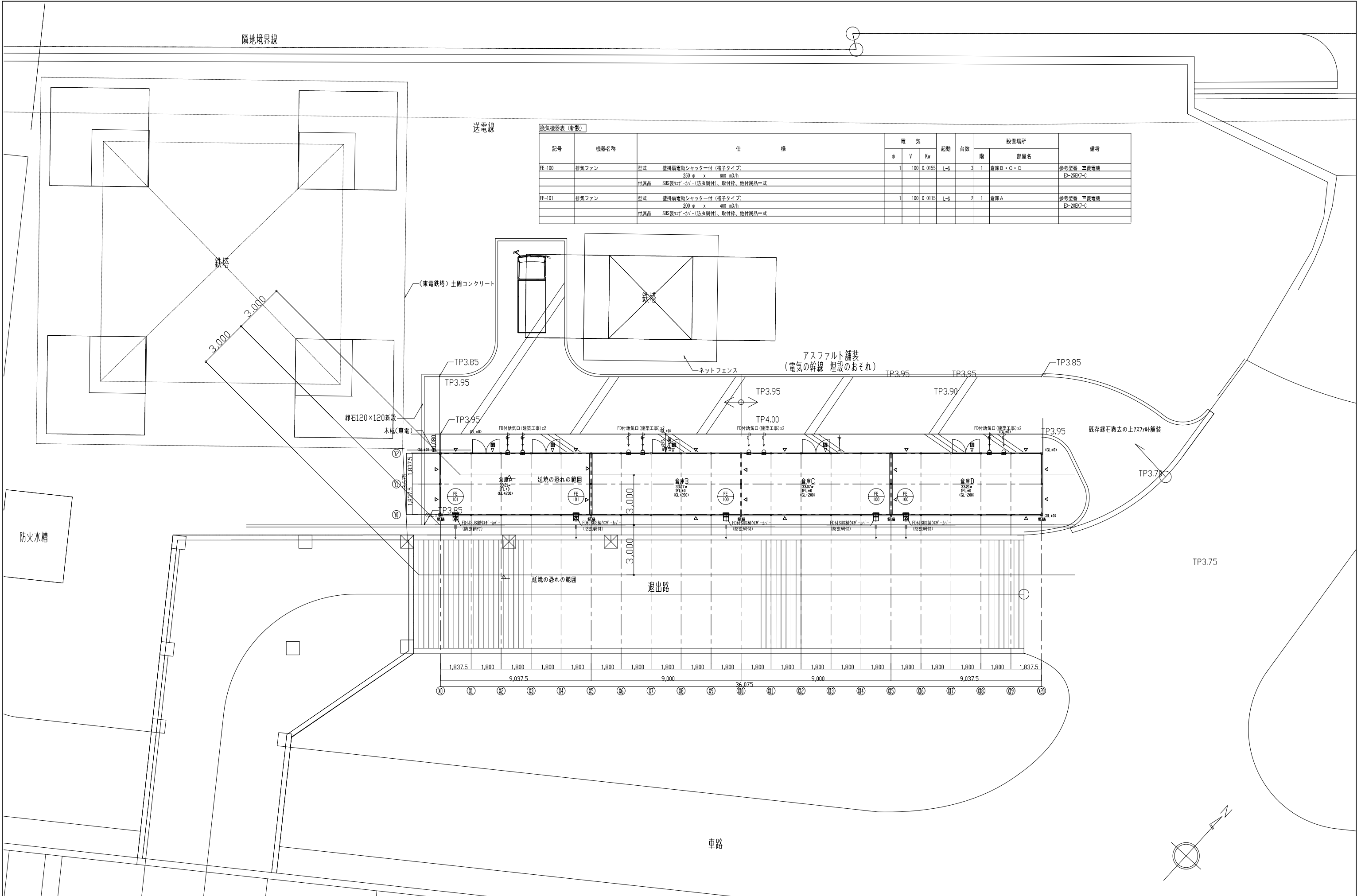
市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課 市川市田尻1003番地	部長	次長	課長	主幹	担当	担当	特記事項	設計事務所名	出堀建築設計室	校閲	設計	展開	設計年月日	工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃借	図面名称	縮尺	図面番号
									登録番号	千葉県知事登録 第1-1605-5512号	出堀	酒井	前田			工事場所	市川市田尻1003番地	鉄骨架構詳細図

隣地境界線

送電線

換気機器表 (新設)

記号	機器名称	仕様	電気			起動	台数	設置場所		備考
			φ	V	Kw			階	部屋名	
FE-100	排気ファン	型式	壁掛型電動シャッター付 (格子タイプ)							
			250 φ	x	400	m3/h	1	倉庫B・C・D	参考設備 三菱電機 EK-25EK7-C	
FE-101	排気ファン	型式	壁掛型電動シャッター付 (格子タイプ)							
			200 φ	x	400	m3/h	2	倉庫A	参考設備 三菱電機 EK-20EK7-C	
	付属品	SUS製カバー (防虫網付)、取付枠、換付部品一式								



市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課
市川市田尻1003番地

部長	次長	課長	主幹	担当	担当
----	----	----	----	----	----

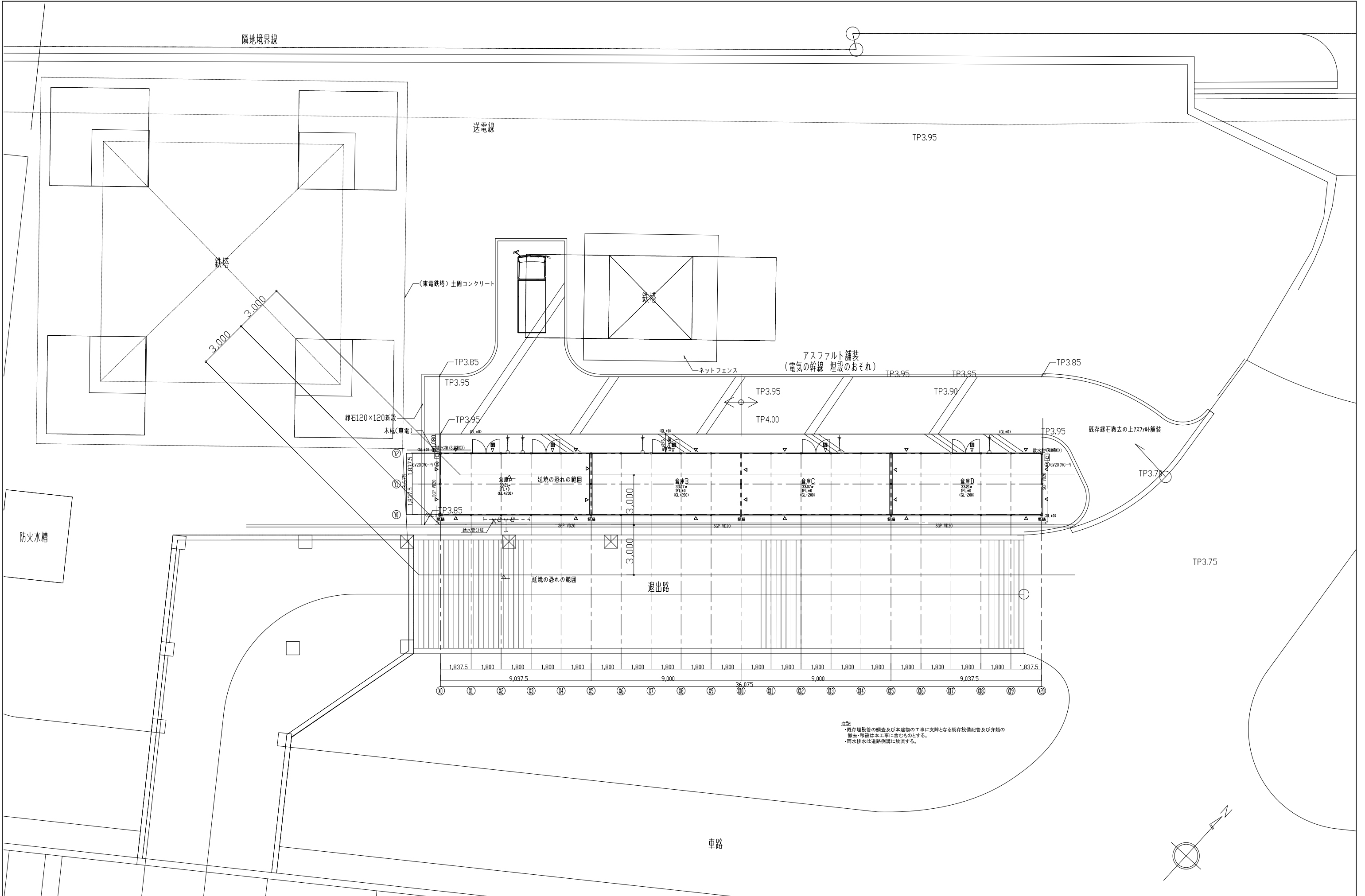
特記事項

設計事務所名 : 出堀建築設計室
登録番号 : 千葉県知事登録 第1-1605-5512号
設計者名 : 出堀 義夫
建築士番号 : 一級建築士 第113243号

概図	設計	製図	設計年月日
出堀	小川	小川	

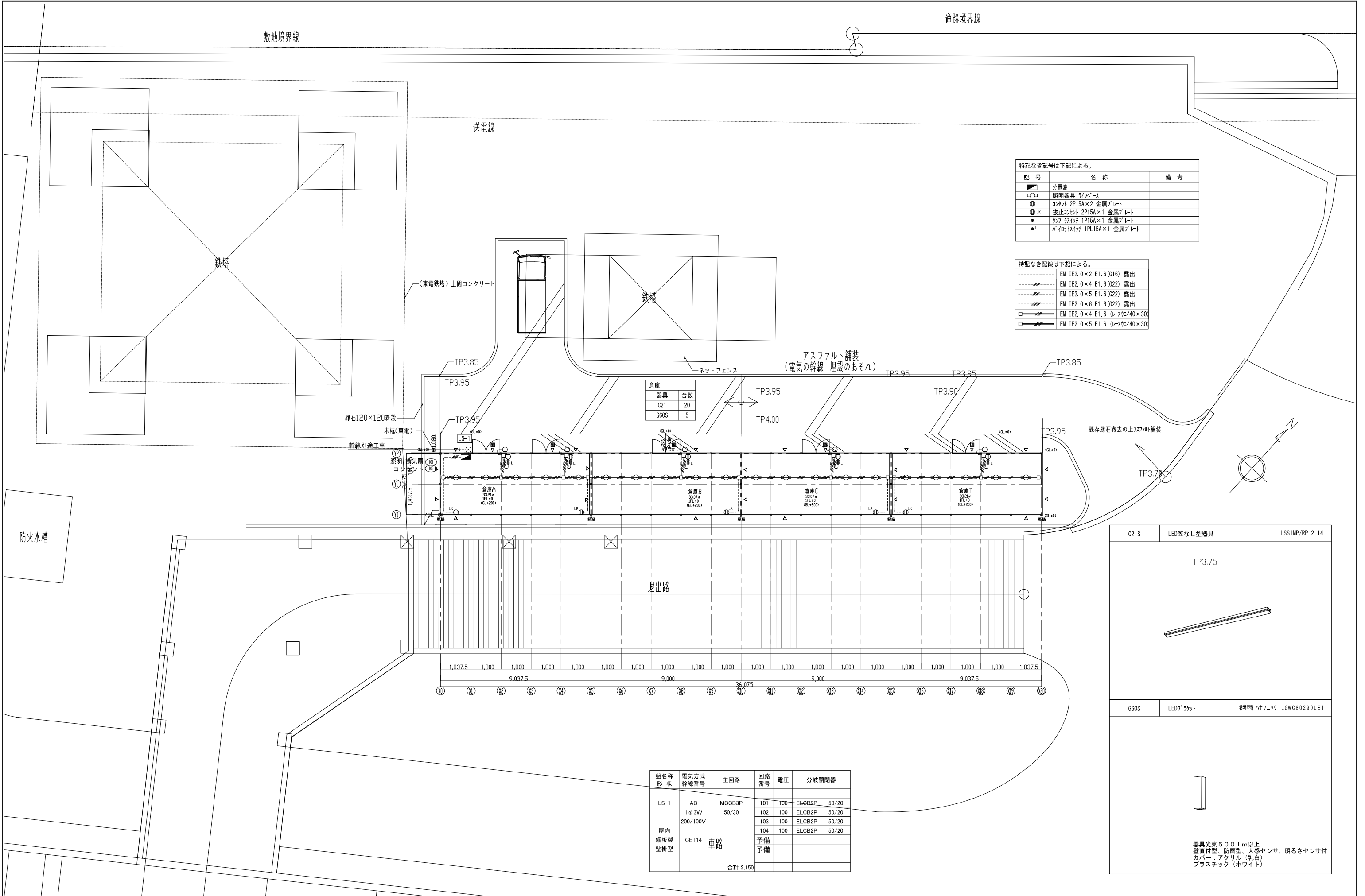
工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借
工事場所	市川市田尻1003番地

図面名称	換気設備 平面図	縮尺	(A1)1/100 (A3)1/200	図面番号	M-001
------	----------	----	------------------------	------	-------



注記
 ・既存埋設管の調査及び本建物の工事に支障となる既存設備配管及び弁類の撤去・移設は本工事に含むものとする。
 ・雨水排水は道路側溝に放流する。

市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課 市川市田尻1003番地	部長	次長	課長	主幹	担当	担当	特記事項	設計事務所名	出堀建築設計室	概図	設計	製図	設計年月日	工事名称	市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借	図面名称	縮尺	図面番号
									登録番号	千葉県知事登録 第1-1605-5512号	出堀	小川	小川		工事場所	市川市田尻1003番地	衛生設備 平面図	(A1)1/100 (A3)1/200



特記なき記号は下記による。

記号	名称	備考
■	分電盤	
□	照明器具 ライトベース	
⊕	コンセント 2P15A×2 金属プレート	
⊖	抜止コンセント 2P15A×1 金属プレート	
●	スイッチ 1P15A×1 金属プレート	
●	スイッチ 1P15A×1 金属プレート	

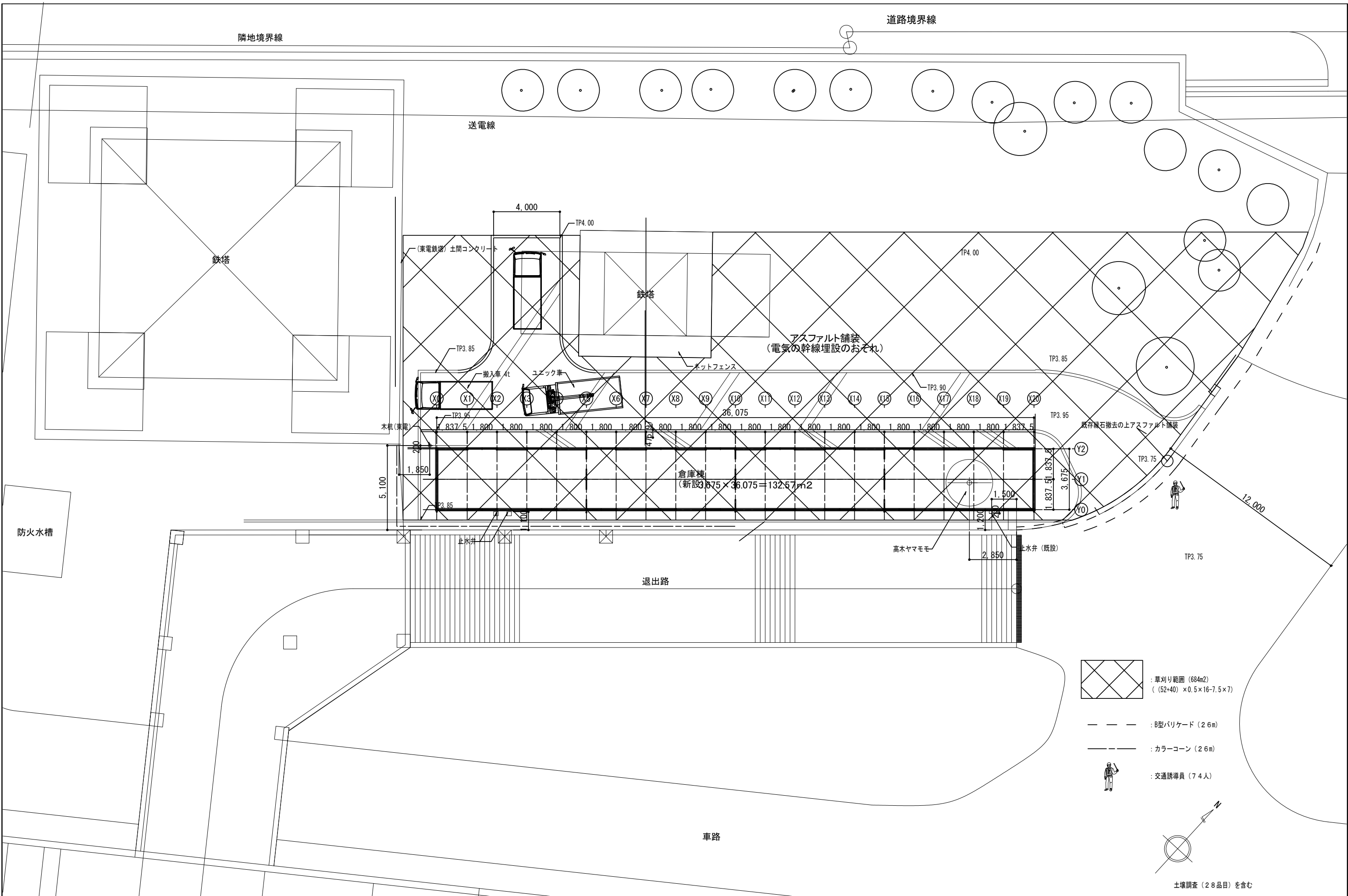
特記なき配線は下記による。

---	EM-IE2.0×2 E1.6(G16) 露出
---	EM-IE2.0×4 E1.6(G22) 露出
---	EM-IE2.0×5 E1.6(G22) 露出
---	EM-IE2.0×6 E1.6(G22) 露出
□	EM-IE2.0×4 E1.6 (レール40×30)
□	EM-IE2.0×5 E1.6 (レール40×30)

倉庫	器具	台数
C21		20
G60S		5

C21S	LED並なし型器具	LSS1MP/RP-2-14
TP3.75		
G60S	LEDラケット	参考型番/パナソニック LGWC80290LE1
器具光束500lm以上 壁直付型、防雨型、人感センサ、明るさセンサ付 カバー：アクリル(乳白) プラスチック(ホワイト)		

盤名称 形状	電気方式 幹線番号	主回路	回路 番号	電圧	分岐開閉器
LS-1 屋内 銅板製 壁掛型	AC 1φ3W 200/100V CET14	MCCB3P 50/30 車路	101	100	ELCB2P 50/20
			102	100	ELCB2P 50/20
			103	100	ELCB2P 50/20
			104	100	ELCB2P 50/20
			予備		
予備					
合計 2.150					



市川市 環境部 環境エネルギー施設整備課
市川市田尻1003番地

部長	次長	課長	主幹	担当	担当

特記事項

設計事務所名 : 出堀建築設計室
 登録番号 : 千葉県知事登録 第1-1605-5512号
 設計者名 : 出堀 義夫
 建築士番号 : 一級建築士 第113243号

検図 設計 製図 設計年月日
 出堀 酒井 酒井

工事名称 : 市川市クリーンセンター倉庫棟賃貸借
 工事場所 : 市川市田尻1003番地

図面名称	縮尺	図面番号
仮設計画(参考)	(A1) 1/100 (A3) 1/200	K-001

土壤調査(28品目)を含む